



病院年報

第 50 号

平成 26 年度版

川 崎 市 立 川 崎 病 院

病院の基本理念

川崎市立川崎病院は、自治体病院として、市民に最善の医療を提供し、地域の皆様の健康と福祉の向上に貢献することを目指し、その目的のために職員の和とたゆまぬ研究心をもって、次のことを実践してまいります。

- 1 「病気」ではなく「病人」を診る患者さん中心の医療
- 2 地域の基幹的病院として、質の高い医療を提供
- 3 健全な経営基盤の確立

2001年4月

病院運営基本方針

- 1 患者さん中心の医療の提供や、医療安全対策の推進に努めます。
- 2 地域の基幹病院として、市民の医療ニーズに迅速かつ柔軟に対応できる最新の高度な医療サービスを提供します。
- 3 医療従事者の資質の向上や、チーム医療の推進など医療の質の向上に努めます。
- 4 地域内の病院や診療所との連携を推進します。
- 5 全職員の経営意識の高揚を図り、健全な経営基盤の確立と市民の意見を反映した運営評価の確立に努めます。
- 6 公正で効率的な病院運営を行うため、職員の意識改革と働きがいのある職場づくりに努めます。

2003年10月

患者さんの権利

川崎市立川崎病院は、地域の基幹病院として、他の医療機関との連携を図りながら、良質な医療の提供に努めております。また、地域に密着した医療活動を担う上で、だれからも信頼され、親しまれる「患者さんの心に触れる医療」の提供を行うとともに、病院の基本理念に基づいて、患者さんの権利を尊重してまいります。

- 1 生命の尊厳と、人格を尊重した医療を受けることができます。
- 2 安全で安心できる良質な医療を受けることができます。
- 3 患者さんご自身の病気や治療について、わかりやすく、また、十分な説明と、その情報の提供を受けることができます。
- 4 希望や意見を述べていただき、診療方法については自らの意思で選択あるいは拒否することができます。
- 5 ご希望により、診療のいかなる段階においても、他の医師及び他の医療機関の医師の意見（セカンド・オピニオン）を求めることができます。
- 6 診療上の個人情報保護は保護され、その秘密は守られます。

2010年11月

臨床における倫理指針

- 1 生命の尊厳と人権を尊重し、個々の患者さんにとってもっとも望ましく適切な医療を提供するように努めます。
- 2 患者さんの信条や価値観に十分配慮し、生命倫理に関する法令、ガイドライン等に準じた医療を提供します。

刊 行 の こ と ば

平成 26 年度は 4 月の消費税 8%への増税とともに始まり、御岳山の噴火、デング熱の国内感染、イスラム国による日本人人質殺害といった想定外の事象も発生し、STAP 細胞問題では日本の科学論文の信頼性が揺らいだ年でもありました。

一方、3 名の日本人科学者が青色 LED の開発によりノーベル物理学賞を受賞、テニス全米オープンでは錦織選手が準優勝するなど嬉しいニュースもあり、為替が円安に振れ株価が上昇するなど、国内経済の回復に明るい兆しが見えた年でもありました。

当院は、川崎市南部地域の高度急性期医療を担う基幹病院として、安全安心で質の高い医療を地域の皆さまに提供するべく、職員一同真摯に業務に励んでまいりました。しかし、残念ながら医業収益は目標に及ばず、厳しい 1 年でありました。このような中で、地域の医療ニーズに即応すべき当院の役割を果たすため、紹介率・逆紹介率の向上を目指し皆が一丸となって取り組んだ結果、前年度と比べて素晴らしい改善をみました。数値は地域医療支援病院の取得要件を満たしており、平成 27 年秋に承認申請をいたします。職員一同のたゆまぬ努力の結果であり、大いに誇るべきことと考えております。

このたび平成 26 年度の年報をお届けする時期となりました。年報には職員の一人ひとりの積み重ねた努力と成果が示されています。職員はこの年報にしっかりと目を通していただきたいと思います。当院の現状を認識することで、新たな発展への意識が醸成されるからです。また、年報は地域の皆さまへの当院の紹介文書であり、地域の皆さまにおかれては当院に対する一層のご理解をいただくとともに、さらなるご協力をお願いできれば幸いに存じます。

最後に、年報作成にご協力いただいた皆さまと、編集にあたって尽力された委員の方々に、心より敬意と感謝の念を表します。



2015年8月

病院長 増田純一

目 次

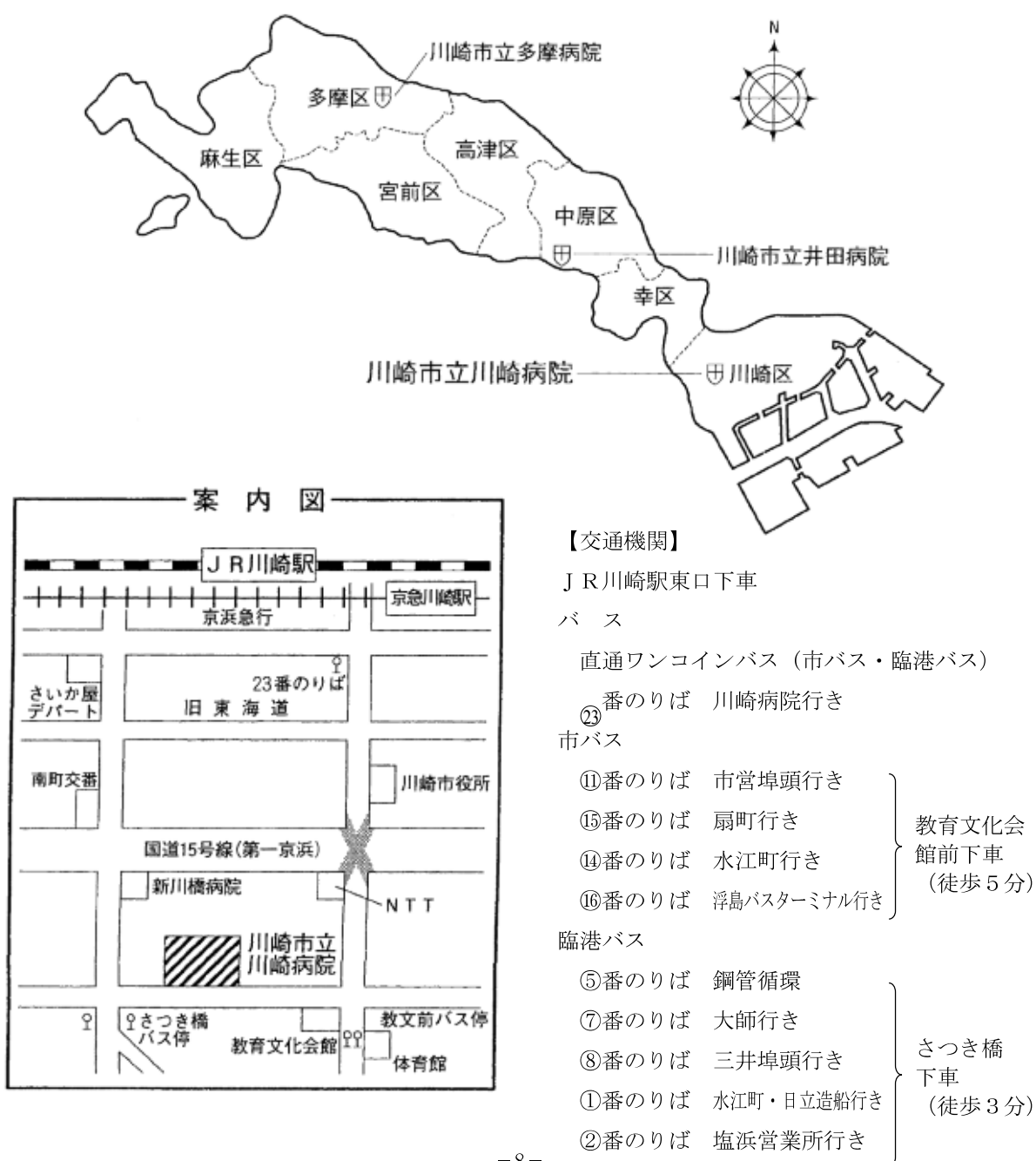
病院の基本理念・病院運営基本方針……………	1	16 放射線診断科・放射線治療科業務状況…	98
患者さんの権利 ……………	2	17 リハビリテーション科業務状況 ……	108
臨床における倫理指針 ……………	3	18 検査科業務状況 ……………	111
刊行のことば ……………	5	19 給食業務状況 ……………	118
位置及び案内 ……………	8	20 栄養指導・NST業務状況 ……………	120
川崎市立川崎病院全景 ……………	9	IV 経理概要 ……………	122
I 沿 革 ……………	10	1 年度別経営収支状況 ……………	122
1 沿 革 ……………	10	2 収入・支出状況 ……………	123
2 人事の変遷 ……………	17	3 年度別一般会計繰入金及び出資金 …	125
II 概 要 ……………	21	4 比較貸借対照表 ……………	125
1 施 設 ……………	21	5 主な経営分析 ……………	127
2 病床数 ……………	21	V 研究・研修及び実習・講師派遣 ……	129
3 機 構 ……………	22	1 診療関係研究 ……………	129
4 職員の状況 ……………	23	2 院内研究交流会 ……………	131
5 主要医療器械・備品 ……………	26	3 看護部研究発表会 ……………	134
6 主な委託業務 ……………	42	4 研 修 ……………	137
7 図書室 ……………	43	5 院外看護活動……………	140
8 看護部の概況 ……………	50	6 各科別実習状況報告 ……………	141
9 地域医療連携室 ……………	54	7 講師派遣 ……………	143
10 医療相談室の概況 ……………	56	VI 臨床研修概要 ……………	147
11 医療安全管理室 ……………	58	1 経 緯 ……………	147
12 定例院内会議 ……………	60	2 初期臨床研修医プログラム ……	152
III 診療業務概要 ……………	62	VII 業績目録 ……………	157
1 外来患者状況 ……………	62	科別業績統計 ……………	158
2 入院患者状況 ……………	63	1 当院における学位取得者 ……	160
3 病棟の利用状況 ……………	64	2 賞 ……………	160
4 科別収益状況 ……………	66	3 研究助成及び共同研究 ……	160
5 地域別新患外来・入院患者数 ……	67	4 著 書 ……………	161
6 救急患者取扱状況 ……………	68	5 書籍の章 ……………	161
7 救命救急センターの業務状況 ……	69	6 論 文 ……………	162
8 専門外来及び診療相談 ……………	70	7 学会・研究会 ……………	169
9 手術件数 ……………	71	8 講演会等 ……………	192
10 分娩件数 ……………	87	9 その他 ……………	200
11 麻酔科状況 ……………	88	編集後記 ……………	202
12 内視鏡室利用状況 ……………	89		
13 クリニカルパス使用件数 ……	90		
14 外来治療センター利用状況 ……	90		
15 薬剤部業務状況 ……………	91		

位置及び案内

川崎市は、多摩丘陵の南端多摩川の河口に開けた平坦部にあります。東京と横浜の間に接している細長い形の都市で、東京駅へ18分、横浜駅へ7分の距離にあります。

川崎市は、2015年3月現在で人口が146万人を超え、政令指定都市の中で市民の平均年齢が最も低い活気にあふれた大都市として、「成長」と「成熟」の調和による持続可能な「最高のまち」をめざして更なる発展を続けております。

川崎市立川崎病院は、少子・高齢化社会が進む中、高度化、情報化をキーワードに、救急医療（精神科救急を含む。）、総合診療体制、新生物疾患医療、循環器疾患医療、中枢神経疾患医療、感染症対策、健康相談・健康教育、在宅医療等の充実のため、21世紀の新しい医療を提供してまいります。





川崎市立川崎病院全景

I 沿革

1 沿革

- T13. 7. 1 川崎町、大師町及び御幸村の2町1村が合併（市制施行）
- S 2. 4. 30 M37.12.28に設立された伝染病組合病院を川崎市立病院と改称
- 11. 12. 16 伝染病院として、川崎市立病院大規模改築整備の上、開院（院長以下21名、病床数96床）
- 12. 3. 15 川崎市立新川病院と改称
- 20. 6. 1 総合病院に切替え（内科、外科、眼科、産婦人科、歯科及び耳鼻咽喉科の設置）、川崎市立川崎病院と改称
- 22. 4. 1 理学診療科の設置
- 24. 1. 1 皮膚泌尿器科の設置
- 26. 7. 1 小児科の設置
- 26. 11. 1 婦人科病棟の完成（昭和42年11月北病棟完成に伴い撤去）
- 27. 3. 1 伝染病棟改築落成（昭和48年5月東病棟建設に伴い撤去）
- 28. 3. 1 本館起工（第一期、第二期及び第三期工事に分けて施工）
- 31. 5. 1 整形外科の設置
- 32. 8. 1 総合病院の名称使用許可（昭和23年、法律第205号）
- 32. 12. 1 厨房及び寄宿舍（第4号館）落成
- 33. 4. 1 神経科の設置
- 33. 10. 1 基準看護（1類）の取得
- 34. 6. 1 本館の完成
- 37. 5. 1 厚生年金病棟（3号館）の完成
- 39. 3. 1 看護婦宿舍が完成
- 39. 4. 1 皮膚泌尿器科を皮膚科及び泌尿器科に分離
地方公営企業法の一部適用
川崎市立高等看護学院の実習病院
- 40. 8. 15 救急病院に指定
- 42. 4. 1 研修医制度（3年制）の発足
- 42. 11. 27 北病棟（地下1階地上6階建及び旧2号館）が完成
- 42. 12. 2 日本小児科学会認定の小児科専門医教育病院
- 43. 2. 8 日本内科学会認定の内科専門医教育病院
- 43. 7. 16 厚生省指定の臨床研修病院
- 44. 3. 31 放射線治療室の完成
- 44. 5. 15 児童福祉施設第1種助産施設として認可
- 45. 1. 1 消化器科及び脳神経外科の設置
- 45. 6. 10 日本脳神経外科学会認定の脳神経外科専門医教育病院
- 45. 11. 19 職員厚生会館の完成
- 46. 4. 1 麻酔科の設置、産婦人科を産科及び婦人科に分離
- 46. 11. 1 特殊医療部及び教育指導部の設置

- S47. 2. 1 基準看護（特類）の実施
48. 4. 1 経理課の設置
49. 4. 1 食養科の設置
49. 10. 1 基準看護（特2類）の実施
50. 10. 14 東病棟（旧1号館）の完成
51. 4. 1 精神科の設置
- 永年カルテ制度（1患者1病歴制度）の採用
51. 5. 1 血液センターの設置
51. 6. 1 中央採血室の設置
- 施設の名称を本館（旧本館）、1号館（旧東病棟）、2号館（旧北病棟）、3号館（旧厚生年金病棟）及び4号館（旧教育指導棟）に変更
52. 4. 1 臨床研修医制度（2年制）の発足
- 医事課に入院用コンピュータの導入
52. 5. 1 1号館5階感染症病棟の開設
52. 10. 5 ICU開設準備室の開設
52. 10. 31 腎センターの開設
53. 4. 1 病院事業部の設置に伴い経理課を廃止
- 看護師を初めて採用
- 病院群輪番制運営事業参加
53. 6. 28 1号館3階総合病棟の開設
53. 9. 11 ICU準備室をICU病棟として開設
53. 11. 1 医事課に外来用コンピュータの導入
54. 3. 31 日本病理学会の認定病院
54. 5. 2 本館内科病棟の名称を内科西病棟及び内科東病棟に変更
- 3号館内科病棟を休床して本館内科東病棟に移転
54. 5. 15 1号館4階総合病棟の開設
54. 10. 2 日本外科学会の認定医修練施設
55. 1. 1 日本麻酔学会の認定指導病院
55. 4. 1 看護科病棟部門の週44時間体制
56. 6. 1 病床数を733床（一般683、伝染50）に変更
58. 4. 11 日本整形外科学会の認定医制度研修施設
58. 10. 1 日本眼科学会の専門医研修施設
59. 4. 1 食養科調理部門の週48時間体制
60. 1. 1 日本消化器外科学会の専門医修練施設
60. 1. 1 副院長2人制の導入
60. 1. 19 日本耳鼻咽喉科学会の専門医研修施設
61. 4. 1 日本泌尿器科学会の専門医教育施設
62. 4. 1 日本皮膚科学会の認定医研修施設
63. 3. 29 外国医師又は外国歯科医師の臨床修練指定病院
63. 4. 1 日本産婦人科学会の認定医制度卒後研修指導施設

S 63.	6.	1	基準看護（特 3 類）を小児科病棟で取得
63.	9.	1	基準看護（特 3 類）を産科及び分娩病棟で取得
H 元.	4.	1	看護部制の実施 臨床クラーク業務の委託
2.	12.	1	基準看護（特 3 類）を取得 本館総合病棟、1 号館 4 階小児病棟、1 号館 4 階未熟室、1 号館 4 階総合病棟、2 号館 4 階外科病棟、2 号館 5 階病棟及び 3 号館婦人科病棟で取得
3.	4.	1	在宅ねたきり患者処置指導管理の取得 看護の日・看護週間の制定
3.	5.	1	在宅酸素療法指導管理の取得
4.	10.	1	電動ギャッジベッド100台導入。その後順次導入
5.	3.	21	完全週休 2 日制に伴い第 2 土曜日及び第 4 土曜日外来診療全科の休診
5.	4.	1	理学診療科を放射線科に変更
6.	3.	27	完全週休 2 日制に伴い全土曜日外来診療全科の休診
6.	4.	1	心臓血管外科の設置
6.	10.	1	新看護 2 対 1（A）看護の取得（全病棟） 医事業務の全面委託
6.	11.	1	夜間勤務看護（加算）の取得
7.	3.	1	新設された看護短大へ看護専門学校を移転
7.	4.	1	在宅医療部の設置 管理当直業務の委託
7.	6.	1	適時適温給食の開始
7.	7.	1	看護専門学校及び看護宿舍の解体開始
7.	7.	19	新病院建設着工
7.	10.	11	自走式二階建駐車場の設置（収容62台）
7.	12.	14	新病院建設起工式
8.	4.	1	事務室から事務局に改変 助産師職認定
9.	1.	10	新病院立柱式
9.	3.	1	リハビリテーション科の設置
9.	3.	31	看護専門学校の閉校
9.	4.	1	リウマチ科及び歯科口腔外科の設置 副院長 3 人制に変更 移転準備担当の設置 衛生局から健康福祉局へ機構改革
9.	12.	18	新病院の上棟式
10.	3.	20	神奈川県知事から災害医療拠点病院の指定
10.	4.	1	呼吸器科、呼吸器外科、総合診療科及び感染症科の設置 在宅医療部から地域医療部へ名称変更 特殊医療部が発展的解消

H10. 4. 1	食養科（特食以外）業務の委託 中央器材室滅菌消毒業務の委託 補修室縫製等業務の委託 中央監視室（受電・空調・ボイラー）業務の委託
10. 7. 15	日本プライマリ・ケア学会の認定医研修施設
10. 10. 21	新病院病棟・中央診療棟完成
10. 11. 1	物流管理（S P D）・滅菌消毒・ME（医療器機中央管理）業務の委託 管理系施設管理業務の委託 ハウスキーパー業務の委託 検体系検査（医化学・血清・一般・血液）業務の委託
10. 11. 10	病棟・中央診療棟竣工式
10. 11. 24	病棟・中央診療棟開設 新棟にて病棟及び一部外来の運用開始 病床種別（一般683床、伝染30床、精神20床）を変更 医療情報システム（HUMAN）稼動 9階北病棟に精神科病棟（20床、新看護3対1（A）・6対1看護補助）の開設
10. 12. 25	インターネット上に川崎病院ホームページ開設 (http://www.city.Kawasaki.jp/35/35kawsyo/home/index.html)
11. 1. 1	N I C U（新生児特定集中治療室）開設（平成13年1月辞退）
11. 2. 1	川崎南部訪問看護ステーション（川崎市看護協会）を院内に設置
11. 4. 1	副院長2人制に変更 標榜科目から神経科を削除 電話交換業務の委託
11. 5. 1	リハビリテーション科で作業療法を開始
11. 6. 1	9階精神科病棟20床から38床へ病床数の変更
11. 7. 1	リハビリテーション科で言語療法を開始
11. 10. 26	薬剤科で無菌製剤処理の実施
11. 12. 1	日本消化器内視鏡学会の認定指導施設
11. 12. 21	遠隔医療協力モデル事業（川崎市及び慶應義塾大学医学部）の記者発表
12. 3. 30	川崎市立川崎病院外来病棟の竣工式
12. 3. 31	井田病院が研修指定病院となったため、川崎病院が従病院となる
12. 4. 1	病院移転担当（庶務課主幹）の廃止 看護助手業務の委託 9階精神科病棟、精神保健及び精神障害福祉に関する法律第19条の8の規定に基づく指定病院（4床設置）
12. 4. 24	外来診療部門の全面オープン
12. 5. 1	8階小児科病棟（小児科46床、未熟児室14床）の病床数変更
12. 5. 7	14階南（内科）病棟のオープン
12. 6. 1	神奈川県精神救急医療事業の基幹病院

- H13. 1. 21 脳死判定による臓器摘出手術の実施
13. 3. 30 外構工事完了
13. 3. 30 川崎市立川崎病院の基本理念建立除幕式
13. 4. 1 新病院完成
13. 4. 1 有料駐車場（駐車台数202台）のオープン
川崎病院ホームページアドレスの変更
(<http://www.city.kawasaki.jp/35/35kawsyo/home/home.html>)
13. 4. 2 川崎駅ー川崎病院間の直通ワンコインバスの運行開始
14. 3. 1 産婦人科で体外受精による治療の開始
14. 4. 1 川崎病院組織改革
内視鏡室、血液透析室、救急部及び小児急病センターを新設
地域医療部及び医療相談室が医事課へ移管
地域医療部及び訪問看護部門が看護部へ移管
14. 4. 9 精神科救急24時間体制の開始
14. 4. 15 川崎病院内に小児急病センターの開設
14. 12. 1 院内駐車場保守業務の委託
15. 4. 1 川崎病院の機構改革
院外処方の開始
食養科調理業務の全面委託
看護助手業務の全面委託
ナースキャップの廃止
15. 4. 6 薬剤師、臨床検査技師及び放射線技師の勤務が変則勤務体制に変更
15. 7. 1 「患者さんの権利」及び「患者さんへのお願い」を制定
15. 9. 1 受動喫煙を防止する法律（健康増進法）の施行に伴い、院内禁煙
15. 10. 20 川崎病院通信「くすの木」創刊号発行
15. 12. 2 重症急性呼吸器症候群（SARS）搬送訓練
16. 2. 17 医療安全管理室の設置
16. 4. 1 副院長3人制に変更
16. 9. 1 1階外来飲食コーナーの設置
16. 10. 17 病院機能評価受審
～19
17. 3. 23 外来治療センターの開設
17. 4. 1 病院局の設置
地方公営企業法の全部適用
17. 7. 1 救急センターの開設
17. 10. 3 当院で日本初の西ナイル熱患者発生を届出
17. 11. 26 川崎消防署と合同で災害時医療訓練を実施
18. 1. 23 (財)日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定を受ける
18. 4. 1 川崎病院組織改革
救命救急センターの開設

H18.	4.	1	放射線科から放射線診断科及び放射線治療科へ組織変更 薬剤科から薬剤部へ組織変更 集中治療部新設 診療部長制度新設
18.	10.	28	神奈川県災害医療拠点病院合同災害医療対策訓練及び消防局航空隊ヘリ コプターによる救急患者搬送等訓練
19.	2.	5	ヘリポートに夜間照明を設置
19.	4.	1	副院長4人制に変更 消化器外科新設 脳血管外科新設 血管外科新設 救急科新設 アドボカシー相談員配置
19.	11.	1	CRC事務室設置
20.	4.	1	院内感染対策担当新設 肝臓内科新設 冠疾患集中治療室新設 婦人内視鏡科新設
20.	6.	2	市内救急医療派遣事業（Kawasaki ONE PIECE）開始
20.	10.	1	日本口腔外科学会認定関連研修施設
21.	1.	1	新総合医療情報システム（HOPE／EGMAIN－GX）稼働
21.	4.	1	新生児集中治療管理室（NICU）再開
21.	4.	1	新生児科新設
21.	7.	1	DPC導入
21.	7.	7	川崎DMA T（災害医療派遣チーム）設置病院として指定
21.	11.	12	第48回全国自治体病院学会を川崎市（サンピアンかわさき）で開催
		～19	学会長 市立川崎病院長 長 秀男
22.	4.	1	神奈川県周産期救急医療システム中核病院として指定
22.	4.	1	神奈川県地域周産期母子医療センターとして認定
22.	4.	1	臨床研究支援室の設置
22.	12.	1	卒後臨床研修評価機構による認定を受ける
23.	3.	23	川崎DMA T指定病院として指定
24.	4.	1	事務局担当部長配置
24.	4.	1	医療相談室が地域医療部へ移管
24.	5.	1	糖尿病内科新設 内分泌内科新設 腎臓内科新設 小児外科新設 乳腺外科新設

- H24. 5. 1 循環器科、新生児科、耳鼻いんこう科及び感染症科から循環器内科、新生児内科、耳鼻咽喉科及び感染症内科へ組織名変更
24. 8. 7 病床数を713床（一般663、精神38、感染12）に変更
24. 10. 20 川崎市立3病院合同災害医療訓練及び消防局航空隊ヘリコプターによる重症患者等搬送訓練
24. 11. 1 7：1看護配置の取得
24. 11. 26 ER初療ベットを10床に増設
24. 12. 1 卒後臨床研修評価機構による認定を受ける（H24.12.1～H30.11.30）
25. 3. 1 助産外来開設
25. 4. 1 リウマチ科からリウマチ膠原病・痛風センターへ組織名変更
腫瘍内科新設
ペインクリニック内科新設
アレルギー科新設
26. 4. 1 血液内科新設
27. 4. 1 内視鏡室から内視鏡センターへ組織名変更

2 人事の変遷（平成27年3月31日現在）

	歴代	氏 名	在 任 期 間	
病 院 長	初代	竹 山 且 子	S. 10. 9. 5～	S. 17. 11. 9
	2代	依 田 稔	16. 7. 18～	18. 4. 2
	3代	博 田 三雄治	18. 4. 2～	27. 7. 24
	4代	宮 尾 啓	27. 7. 25～	39. 9. 1
	5代	勝 正 孝	39. 9. 1～	50. 8. 31
	6代	山 本 浩	50. 9. 1～	53. 2. 1
	7代	藤 森 一 平	53. 2. 1～	61. 11. 30
	8代	林 茂	61. 12. 1～	H. 6. 3. 31
	9代	入 交 昭一郎	H. 6. 4. 1～	11. 3. 31
	10代	岩 田 嘉 行	11. 4. 1～	12. 3. 31
	11代	武 内 可 尚	12. 4. 1～	15. 3. 31
	12代	秋 月 哲 史	15. 4. 1～	20. 3. 31
	13代	長 秀 男	20. 4. 1～	22. 3. 31
	14代	堀 内 行 雄	22. 4. 1～	25. 3. 31
	15代	増 田 純 一	25. 4. 1～	現在に至る
理 事	初代	堀 内 行 雄	H. 21. 4. 1～	22. 3. 31
	2代	増 田 純 一（担当理事）	24. 4. 1～	25. 3. 31
	3代	林 保 良（担当理事）	24. 4. 1～	現在に至る
	4代	堀 内 行 雄（担当理事）	25. 4. 1～	26. 3. 31
	5代	番 場 正 博（担当理事）	27. 4. 1～	現在に至る
副 院 長	初代	宮 尾 啓	S. 26. 1. 23～	27. 7. 24
	2代	高 村 長 治	34. 8. 1～	36. 9. 1
	3代	勝 正 孝	36. 12. 1～	39. 8. 31
	4代	石 田 堅 一	39. 9. 1～	45. 3. 31
	5代	山 本 浩	45. 4. 1～	50. 8. 31
	6代	藤 森 一 平	50. 9. 1～	53. 1. 31
	7代	菅 野 卓 郎	53. 2. 1～	56. 3. 31
	8代	斉 藤 敏 明	56. 4. 1～	62. 3. 31
	9代	鹿 野 達 男	60. 1. 1～	H. 6. 3. 31
	10代	入 交 昭一郎	S. 61. 12. 1～	H. 6. 3. 31
	11代	山 本 泰 秀	H. 6. 4. 1～	11. 3. 31
	12代	岩 田 嘉 行	6. 4. 1～	11. 3. 31
	13代	松 岡 康 夫	9. 4. 1～	15. 3. 31
	14代	武 内 可 尚	11. 4. 1～	12. 3. 31
	15代	納 賀 克 彦	12. 4. 1～	17. 3. 31
	16代	堀 内 行 雄	15. 4. 1～	21. 3. 31

17代	篠原弘子	16. 4. 1～	20. 3. 31
18代	関賢一	17. 4. 1～	21. 3. 31
19代	長秀男	19. 4. 1～	20. 3. 31
20代	成松芳明	20. 4. 1～	現在に至る
21代	齊田和子	20. 4. 1～	25. 3. 31
22代	久場川哲二	21. 4. 1～	22. 3. 31
23代	竹中信夫	21. 4. 1～	現在に至る
24代	増田純一（兼）	22. 4. 1～	25. 3. 31
25代	番場正博	25. 4. 1～	27. 3. 31
26代	綱嶋たかえ	25. 4. 1～	現在に至る
27代	宮川俊一	27. 4. 1～	現在に至る

事務長

初代	海野才知	S. 20. 6. 1～	S. 21. 8. 23
2代	白倉謙一	21. 8. 24～	27. 7. 24
3代	宇田川政之	27. 7. 25～	29. 8. 27
4代	石井一郎	29. 8. 28～	30. 7. 31
5代	石井英夫	30. 8. 1～	37. 4. 30
6代	竹山忠雄	37. 5. 1～	40. 3. 31
7代	森己之松	40. 4. 1～	42. 10. 31
8代	塚原重年	42. 11. 1～	44. 3. 31
9代	小熊栄次	44. 4. 1～	47. 10. 4
10代	遠藤文郎	47. 10. 5～	47. 12. 13
11代	田代穆彦	47. 12. 23～	54. 4. 30
12代	重岡賢治	54. 5. 1～	57. 1. 31
13代	上野松治	57. 2. 1～	62. 3. 31
14代	岡庭英昭	62. 5. 1～	H. 元. 3. 31
15代	白鳥房夫	H. 元. 4. 1～	3. 3. 31
16代	藤井健司	3. 4. 1～	5. 3. 31
17代	鈴木嗣明	5. 4. 1～	6. 3. 31

事務局長

18代	斎藤至旦（経営担当理事）	6. 4. 1～	8. 3. 31
19代	蟹江徹也（経営担当理事）	8. 4. 1～	10. 3. 31
20代	菊池敏彦（経営担当理事）	10. 4. 1～	11. 3. 31
21代	山本栄一（経営担当理事）	11. 4. 1～	13. 3. 31
22代	石井洋二郎（経営担当理事）	13. 4. 1～	14. 3. 31
23代	佐藤猛（経営担当理事）	14. 4. 1～	15. 3. 31
24代	添田真郷	15. 4. 1～	17. 3. 31
25代	鈴木康夫	17. 4. 1～	20. 3. 31
26代	佐々木元行	20. 4. 1～	21. 3. 31
27代	高井敏雄	21. 4. 1～	26. 3. 31

	28代	柄 崎 智	26. 4. 1～	現在に至る
総 婦 長	初代	植 田 まき子	S. 20. 6. 1～	S. 39. 9. 30
	2代	船 場 宮 子	39. 10. 1～	53. 6. 31
	3代	久保田 好 實	53. 7. 1～	58. 9. 30
	4代	加治木 ユ リ	58. 10. 1～	61. 3. 31
	5代	高 木 昌 子	61. 4. 1～	62. 4. 30
看護部長	6代	久保田 好 實	62. 5. 1～	H. 2. 3. 31
	7代	庄 崎 雅 子	H. 2. 4. 1～	7. 3. 31
	8代	高 木 サカエ	7. 4. 1～	10. 3. 31
	9代	強 矢 智恵子	10. 4. 1～	13. 3. 31
	10代	釣 卷 慈 子	13. 4. 1～	15. 3. 31
	11代	篠 原 弘 子 (兼)	15. 4. 1～	20. 3. 31
	12代	齊 田 和 子 (兼)	20. 4. 1～	25. 3. 31
	13代	綱 嶋 たかえ (兼)	25. 4. 1～	現在に至る
救命センター長	初代	石 井 誠一郎	H. 17. 7. 1～	H. 18. 3. 31
救 命 救 急	初代	石 井 誠一郎	18. 4. 1～	21. 3. 31
センター所長	2代	堀 内 行 雄 (兼)	21. 4. 1～	22. 3. 31
	3代	竹 中 信 夫 (兼)	22. 4. 1～	27. 3. 31
	4代	田 熊 清 継	27. 4. 1～	現在に至る

Ⅱ 概 要

1 施 設

所 在 地 川崎市川崎区新川通12番1号

〒210-0013 TEL 044(233)5521 FAX 044(245)9600

敷地面積 19,813.32㎡

建物面積 6,325.94㎡

延床面積 49,890.18㎡

2 病 床 数

713床 内訳：一般663床 感染 12床 精神 38床（平成27年3月31日現在）

ヘリポート

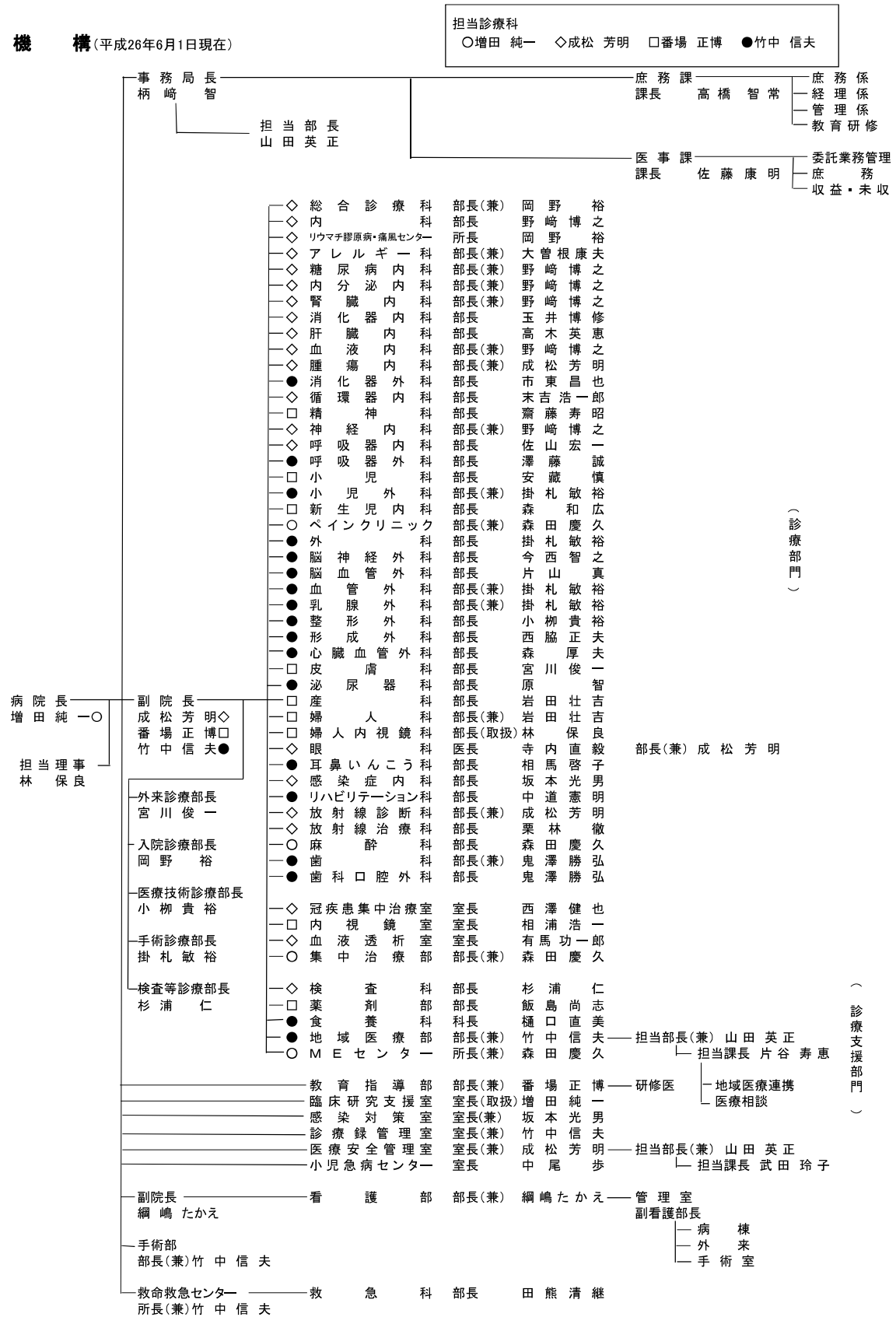
E L V機械室					
職員・一般レストラン		15	食 養 科 厨 房		
内科（51床）	南 病 棟	14	内科（47床）・透析（5床）		
内科・神経内科（53床）		13	心臓血管外科・循環器科（51床）		
脳神経外科・皮膚科・放射線科・ リハビリテーション科・内科（53床）		12	耳鼻いんこう科・眼科・歯科口腔外科・ 泌尿器科・形成外科（51床）		
外科（53床）		11	外科（53床）		
婦人科・整形外科（52床）		10	整形外科・形成外科（53床）		
感染症（12床）・救命救急センター（20床）		9	精神科（38床）		
小児科（41床）・GCU（18床）・ NICU（6床）		8	分娩室・産科（44床）		
講堂・会議室	電気室	7	リネン室・ベッドセンター	手術部空調機械室	
総合医局	解剖室・霊安室	6	MEセンター		
	ICU（8床） CCU（4床）	5	中央器材室	手術室（11室）	
	医療安全管理室	4	看護部・地域連携室・会議 室・検体検査・電話交換室	図書室・病理・管理部門	
	診療録管理室・内視 鏡室	3	小児科外来	生理・細菌検査・リハビリテ ーション・外来治療センター	
	採尿・採血室・薬剤 部・臨床研究支援室	2	歯科・歯科口腔外科 精神科外来・血液センター	CT・X線・放射線科 結石破碎室	
泌尿器科・皮膚科・ 産婦人科	正面入口 中央待合 ホール 初診受付 再診受付 会計 お薬渡し 総合案内 受付	1	医療相談室 SPD・防災センター	放射線治療・MR・核医 学・廃棄物センター	
循環器外来・整形外科・ 眼科・外来手術 室・耳鼻咽喉科					
内科・総合診療科・外科・脳 神経外科・救命救急センター					
	コジェネ室・ボイラー室	B1	中央監視室		

A棟（外来棟）

B棟

C棟

3 機 構 (平成26年6月1日現在)



4 職員の状況

(1) 職種別現員

職 種	平成26年 3月1日 現員数	平成26年度				平成27年 3月1日 現員数	平成27年 4月1日 現員数
		採用	異動人数	退職	異動出棟		
医 師	120	41		33	3	126	128
歯 科 医 師	2	1				3	3
薬 剤 師	21	2	1	1	2	22	21
助 産 師	24	4		3		23	23
看 護 師	545	69	7	56	10	561	589
(准看護師)	(4)					4	4
歯 科 衛 生 士	2					2	2
栄 養 士	6					6	6
臨 床 検 査 技 師	19	4		1		22	21
診 療 放 射 線 技 師	28		1		2	28	29
理 学 療 法 士	7					7	7
作 業 療 法 士	3					3	3
言 語 聴 覚 士	2					2	3
視 能 訓 練 士	2					2	2
臨 床 工 学 技 士	5			1		5	6
一 般 事 務 職	28		8	1		25	28
社 会 福 祉 職	3				1	3	3
電 気 職	2	1				2	2
小 計	819	122	17	96	26	842	876
手 術 指 導 等 医 師	3	1		1		3	3
専 修 医 (専 攻 医)	46	40		40	1	45	52
臨 床 研 修 医	22	14		11		24	22
地 域 連 携 看 護 師	3	1		1		3	2
地 域 医 療 連 携 事 務	1					1	1
心 理 、 精 神 保 健	4			1		4	3
ア ド ボ カ シ ー 業 務	2	1				2	2
保 育 業 務	7	1		1		8	7
医 療 相 談 業 務	10	3		1		10	10
臨 床 検 査 専 門 員	4					1	1
診 療 報 酬 請 求 専 門 員	2					2	2
主 任 診 療 報 酬 請 求 専 門 員	1					1	1
臨 時 的 任 用 雇 用 事 務 嘱 託 員	1					1	2
医 療 福 祉 相 談 員	3	1		2		2	3
臨 床 研 究 支 援 業 務	2			1		2	2
安 全 衛 生 管 理 嘱 託 員	1	1		2		1	1
医 療 情 報 シ ス テ ム 管 理 専 門 員	1					1	1
各 種 委 員 会 書 記 業 務	2	1		1		2	2
診 療 情 報 管 理 業 務	3					3	3
周 産 期 心 理 相 談 業 務	1					1	1
救 急 業 務 嘱 託 員		1				1	1
診 療 報 酬 請 求 シ ス テ ム	1					1	1
臨 床 研 究 支 援 室 事 務 補		1		1		1	1
退 院 支 援 ・ 相 談 業 務		2				2	2
教 育 指 導 部 関 係 業 務							1
が ん 拠 点 病 院 関 係 事 務							
小 計	120	68	0	63	1	122	127
合 計	939	190	17	159	27	964	1,003

※(准看護師)数は、看護師数の再掲の数字を示す。

※手術指導等医師以下すべて非常勤嘱託員

(2) 平成26年度退職者及び平成27年4月1日付け院外異動者

*印は院外異動者

医 師

* 森 厚 夫	H17. 5. 1	～	H27. 3. 31
* 猪 野 絢 子	H26. 4. 1	～	H27. 3. 31
* 高 橋 俊 介	H20. 4. 1	～	H27. 3. 31
小 柳 和 夫	H23. 4. 1	～	H26. 4. 30
浅 野 拓 行	H25. 4. 1	～	H26. 6. 24
石 川 真 由 美	H26. 4. 1	～	H26. 6. 30
岩 佐 尚 美	H26. 4. 1	～	H26. 6. 30
石 川 紗 希	H25. 7. 1	～	H26. 6. 30
柏 山 史 穂	H26. 4. 1	～	H26. 8. 31
坂 井 み の り	H26. 4. 1	～	H26. 9. 30
堀 内 孝 一	H24. 2. 1	～	H26. 9. 30
栗 原 佑 一	H23. 4. 1	～	H26. 9. 30
武 田 利 和	H26. 4. 1	～	H26. 9. 30
大久保 麻里絵	H26. 7. 1	～	H26. 9. 30
八 木 紫	H25. 4. 1	～	H26. 9. 30
郷 内 志 朗	H22. 4. 1	～	H26. 9. 30
近 藤 英 樹	H22. 4. 1	～	H26. 9. 30
佐々木 拓 幸	H26. 10. 1	～	H26. 12. 31
菊 池 亜 矢	H25. 10. 1	～	H26. 12. 31
吉 井 肇	H26. 4. 1	～	H27. 3. 31
工 藤 雄 大	H24. 4. 1	～	H27. 3. 31
住 友 典 子	H24. 10. 1	～	H27. 3. 31
原 香 織	H26. 4. 1	～	H27. 3. 31
櫻 本 真 理	H26. 10. 1	～	H27. 3. 31
星 本 相 淳	H24. 4. 1	～	H27. 3. 31
江 口 圭 介	H25. 4. 1	～	H27. 3. 31
加 島 一 郎	H26. 4. 1	～	H27. 3. 31
磯 貝 宜 広	H25. 7. 1	～	H27. 3. 31
根 本 康	H24. 4. 1	～	H27. 3. 31
芹 沢 亜 沙 子	H25. 4. 1	～	H27. 3. 31
吉 田 祐	H26. 10. 1	～	H27. 3. 31
入 江 晴 子	H27. 1. 1	～	H27. 3. 31
寺 内 直 毅	H25. 4. 1	～	H27. 3. 31
三 浦 康 士 郎	H26. 4. 1	～	H27. 3. 31
渡 部 桂 子	H26. 4. 1	～	H27. 3. 31
金 尾 邦 生	H24. 7. 1	～	H27. 3. 31

非常勤医師

* 荒 井 亮 輔	H24. 4. 1	～	H27. 3. 31
本 田 香 織	H25. 4. 1	～	H26. 4. 30
西 田 有 正	H26. 4. 1	～	H26. 6. 30
米 森 京 子	H26. 4. 1	～	H26. 6. 30
藤 澤 有 希	H25. 10. 1	～	H26. 9. 30
中 間 楽 平	H26. 7. 1	～	H26. 9. 30
西 田 倫	H26. 4. 1	～	H26. 9. 30
杉 原 正 子	H26. 7. 1	～	H26. 9. 30
三 浦 元 太 郎	H26. 7. 1	～	H26. 9. 30
鳥 居 健 一	H26. 4. 1	～	H26. 9. 30
中 村 泰 輔	H26. 4. 1	～	H26. 9. 30
永 井 常 高	H26. 10. 1	～	H26. 12. 31
平 田 望	H26. 10. 1	～	H26. 12. 31
長 谷 川 司	H25. 4. 1	～	H27. 3. 31
本 橋 健 史	H25. 4. 1	～	H27. 3. 31

布 施 彰 久	H25. 10. 1	～	H27. 3. 31
米 澤 栄 里	H26. 4. 1	～	H27. 3. 31
安 部 悠 人	H26. 4. 1	～	H27. 3. 31
金 子 厚	H26. 4. 1	～	H27. 3. 31
須 賀 裕 樹	H26. 4. 1	～	H27. 3. 31
遠 藤 裕 子	H26. 4. 1	～	H27. 3. 31
乃 木 田 礼 佳	H26. 4. 1	～	H27. 3. 31
大 田 貴 弘	H26. 4. 1	～	H27. 3. 31
川 口 隆 久	H26. 4. 1	～	H27. 3. 31
井 上 和 茂	H25. 4. 1	～	H27. 3. 31
細 田 篤 志	H26. 4. 1	～	H27. 3. 31
切 詰 和 孝	H26. 4. 1	～	H27. 3. 31
平 賀 聡	H25. 10. 1	～	H27. 3. 31
岩 井 貴 洋	H26. 4. 1	～	H27. 3. 31
竹 丸 雅 志	H26. 10. 1	～	H27. 3. 31
天 貝 久	H25. 4. 1	～	H27. 3. 31
高 橋 秀 行	H25. 4. 1	～	H27. 3. 31
兵 頭 綾 子	H27. 1. 1	～	H27. 3. 31
本 田 堯	H25. 4. 1	～	H27. 3. 31
大 河 内 緑	H24. 4. 1	～	H27. 3. 31
竹 田 貴	H26. 4. 1	～	H27. 3. 31
大 西 英 之	H25. 10. 1	～	H27. 3. 31
富 岡 拓 矢	H26. 4. 1	～	H27. 3. 31
中 島 淳	H26. 4. 1	～	H27. 3. 31
中 村 泰 輔	H27. 1. 1	～	H27. 3. 31
近 野 祐 介	H25. 4. 1	～	H27. 3. 31

臨床研修医

安 東 一 樹	H25. 4. 1	～	H27. 3. 31
高 聖 淵	H25. 4. 1	～	H27. 3. 31
郡 山 琴 絵	H25. 4. 1	～	H27. 3. 31
竹 原 朋 宏	H25. 4. 1	～	H27. 3. 31
遠 藤 恵	H25. 4. 1	～	H27. 3. 31
刈 田 幹 太	H25. 4. 1	～	H27. 3. 31
前 田 裕 斗	H25. 4. 1	～	H27. 3. 31
倉 持 信	H26. 4. 1	～	H27. 3. 31
新 谷 悠 花	H26. 4. 1	～	H27. 3. 31
玉 城 博 章	H26. 4. 1	～	H27. 3. 31
増 本 奈 々	H26. 4. 1	～	H27. 3. 31

看護師・助産師

* 篠 山 薫	H22. 4. 1	～	H27. 3. 31
* 舘 山 奈 緒 子	H3. 4. 1	～	H27. 3. 31
* 末 次 美 智 子	H18. 7. 1	～	H27. 3. 31
* 深 澤 由 美	H2. 4. 1	～	H27. 3. 31
* 吉 田 龍 也	H13. 4. 1	～	H27. 3. 31
* 石 井 和 子	H21. 10. 1	～	H27. 3. 31
* 鈴 木 了 子	H22. 4. 1	～	H27. 3. 31
* 野 間 美 智 子	H24. 4. 1	～	H27. 3. 31
* 鎌 野 慈 子	H24. 4. 1	～	H27. 3. 31
* 片 谷 寿 恵	H20. 4. 1	～	H27. 3. 31
大 越 瑠 璃 子	H25. 4. 1	～	H26. 4. 30
横 山 か お り	H24. 4. 1	～	H27. 3. 31
大 川 や よ い	H24. 4. 1	～	H27. 3. 31

元 木 由 理	H24. 4. 1	～	H27. 3. 31
半 谷 久 美	H24. 7. 1	～	H27. 3. 31
藤 本 多 喜 子	H18. 4. 1	～	H26. 6. 30
高 崎 明 子	H19. 4. 1	～	H26. 6. 30
宮 林 沙 帆	H23. 4. 1	～	H26. 6. 30
扇 谷 奈々加	H24. 4. 1	～	H26. 6. 30
重 政 京 子	H24. 4. 1	～	H26. 6. 30
尾 形 圭 子	H25. 4. 1	～	H26. 6. 30
菊 川 沙 織	H25. 4. 1	～	H26. 6. 30
比 嘉 智 代	H26. 4. 1	～	H26. 6. 30
境 田 知 里	H25. 4. 1	～	H26. 7. 31
小 松 崎 南	H26. 4. 1	～	H26. 7. 31
横 山 映 子	H26. 4. 1	～	H26. 7. 31
矢 野 東 希	H26. 4. 1	～	H26. 7. 31
岩 本 順 子	H23. 4. 1	～	H26. 8. 31
畠 中 好 美	H19. 10. 1	～	H26. 9. 30
古 橋 章	H25. 7. 1	～	H26. 9. 30
大 山 いづみ	H26. 4. 1	～	H26. 9. 30
新 井 利 彬	H26. 4. 1	～	H26. 9. 30
下 田 菜 摘	H23. 7. 1	～	H26. 10. 31
渡 辺 由 香	H26. 4. 1	～	H26. 11. 30
後 藤 真 紀	H19. 4. 1	～	H26. 12. 31
川 久 保 玲	H24. 4. 1	～	H26. 12. 31
外 間 悠	H25. 4. 1	～	H26. 12. 31
平 舘 真 琴	H26. 4. 1	～	H26. 12. 31
田 卷 愛 菜	H26. 4. 1	～	H26. 12. 31
今 関 仁 美	H26. 4. 1	～	H26. 12. 31
大 塚 文 人	H18. 4. 1	～	H27. 1. 22
大 平 優 香	H22. 4. 1	～	H27. 1. 31
内 山 佳 子	H23. 4. 1	～	H27. 2. 28
川 崎 友 貴	H25. 4. 1	～	H27. 2. 28
中 原 淳	S59. 1. 1	～	H27. 3. 31
齋 藤 範 子	S51. 4. 1	～	H27. 3. 31
中 出 智 子	H17. 9. 1	～	H27. 3. 31
清 水 美 栄	H22. 4. 1	～	H27. 3. 31
北 島 愛 子	H19. 4. 1	～	H27. 3. 31
横 須 賀 敬 子	H19. 4. 1	～	H27. 3. 31
原 知 佳 子	H19. 4. 1	～	H27. 3. 31
松 田 香 奈	H20. 4. 1	～	H27. 3. 31
久 米 直	H23. 4. 1	～	H27. 3. 31
鳥 海 幸 恵	H21. 4. 1	～	H27. 3. 31
葛 西 香 菜	H23. 4. 1	～	H27. 3. 31
泉 由 香	H23. 4. 1	～	H27. 3. 31
高 橋 絵 美	H23. 4. 1	～	H27. 3. 31
寺 谷 はる 菜	H24. 4. 1	～	H27. 3. 31
早 坂 三 鈴	H24. 4. 1	～	H27. 3. 31
吉 田 美 由	H24. 4. 1	～	H27. 3. 31
樋 口 智 佳	H24. 4. 1	～	H27. 3. 31
城 戸 佐 姫	H24. 4. 1	～	H27. 3. 31
石 井 沙 織	H24. 4. 1	～	H27. 3. 31

医療福祉相談員

小 山 田 江 美	H25. 4. 1	～	H26. 12. 31
佐 藤 仁 美	H27. 2. 1	～	H27. 2. 28

山 内 綾 代	H26. 4. 1	～	H27. 3. 31
西 川 敏 代	H26. 4. 1	～	H27. 3. 31

事務

* 山 田 英 正	H26. 4. 1	～	H27. 3. 31
* 高 橋 智 常	H22. 4. 1	～	H27. 3. 31
* 水 嶋 祐 二	H25. 4. 1	～	H27. 3. 31
* 齋 藤 文 彦	H22. 4. 1	～	H27. 3. 31
* 石 井 ま り	H23. 4. 1	～	H27. 3. 31
* 藤 原 裕 二	H24. 4. 1	～	H27. 3. 31
* 高 橋 一 憲	H21. 4. 1	～	H27. 3. 31
* 和 田 浩	H21. 4. 1	～	H27. 3. 31
* 石 村 彩 織	H24. 4. 1	～	H27. 3. 31
佐 保 田 加 南	H24. 4. 1	～	H26. 12. 31

診療放射線技師

* 勝 盛 祐 子	H17. 4. 1	～	H27. 3. 31
* 三 嶽 秀 介	H19. 4. 1	～	H27. 3. 31

臨床工学技士

門 馬 栄 菜	H25. 4. 1	～	H27. 3. 31
---------	-----------	---	------------

臨床検査技師

守 屋 久 子	S51. 4. 1	～	H27. 3. 31
---------	-----------	---	------------

薬剤師

* 阿 部 正 視	S58. 4. 1	～	H27. 3. 31
* 木 田 貴 子	H20. 10. 1	～	H27. 3. 31
内 海 俊 一	H22. 4. 1	～	H27. 3. 31

地域医療連携看護師

岡 田 弘 美	H26. 5. 1	～	H27. 3. 31
---------	-----------	---	------------

心身、精神保健

濱 崎 鼓	H25. 4. 1	～	H27. 3. 31
-------	-----------	---	------------

保育業務

星 野 矢 恵	H25. 5. 1	～	H27. 3. 31
---------	-----------	---	------------

医療相談業務

猪 鼻 忠	H17. 4. 1	～	H26. 9. 30
-------	-----------	---	------------

臨床研究支援業務

神 田 雅 子	H22. 4. 1	～	H27. 3. 31
---------	-----------	---	------------

安全衛生管理嘱託員

柴 田 有 紀	H23. 6. 1	～	H26. 12. 31
佐 保 田 加 南	H27. 1. 16	～	H27. 3. 15

各種委員会書記業務

水 田 奈 緒	H24. 4. 1	～	H26. 7. 31
---------	-----------	---	------------

臨床研究支援室事務補助

新 井 亜 子	H26. 4. 1	～	H27. 3. 31
---------	-----------	---	------------

5 主要医療器械・備品

所 属 別	品 名	規 格	数量	備考
手 術 室	弁手術用開胸器システム	St.Jude Medical KS-7002 他	1式	
〃	腹腔鏡下手術システム	カールストルツ エンドビジトリカム	1式	
〃	婦人科用腹腔鏡システム	オリンパス UHI-3 他	1式	
〃	膝関節鏡システム	0988-010-000-S2 他	1式	
〃	脳神経外科内視鏡セット	オリンパス工業 光学視管 (A7500A) 他	1式	
〃	脳外科用手術顕微鏡	OPMI CS-NC+NC2	1	
〃	尿管鏡	原田産業 M3 テレスコープ 他	1式	
〃	頭部固定装置 (バデーハローリトラクター)		1	
〃	電動手術台 (手術台テーブル)	マッケ・ジャパン 1150.15DO	1	
〃	電子内視鏡	フジノン EL2-TF410 TYPE41	1	
〃	電子スコープ	フジノン EL2-TF410	1	
〃	電気手術装置システム	エルベ VIO300D	1	
〃	電気手術装置	アムコ VIO300D	1式	
〃	電気メス装置	エルボトーム ICC350	1	
〃	電気メス	バリーラブ フォース FX 本体 他	3	
〃	超音波診断装置 (外科)	SSA-240A	1	
〃	超音波凝固切開装置	ジョンソン・エンド・ジョンソンハーモニック スカルペル II	1	
〃	超音波画像診断装置		1	
〃	創外固定器システム		1	
〃	全身麻酔器	オメガ エクセル 210SE	1	
〃	心拍出量測定装置	日本光電 DDG-2001	1	
〃	心臓外科手術器具セット	(人工心肺装置一式)	1式	
〃	手術用無菌水手洗装置	MRE-SR-3 型, 2 型	1	
〃	手術室无影灯 (4 脳外科用)	山田医療照明 U6160	1	
〃	手術室无影灯 (9)	U-63TV60	1	
〃	手術室无影灯 (5 心外用)	山田医療照明 No11-4	1	
〃	手術顕微鏡装置	カールツアイス	1	
〃	自動洗浄除染乾燥装置	エムエス WD/LS-76CS	1	
〃	自己血回収システム	セルセーバー 5 CS-2005	1 式	
〃	耳鼻科用内視鏡手術装置	ストライカー MV-882TE 他	1	
〃	耳鼻科用ドリルシステム	ジンマー オステオンドリルシステム 5038-001	1 式	
〃	耳鼻科内視鏡システム	カールストルツ IMAGE1	1 式	

◎印は平成26年度新規購入及び買換を示す。

(取得価格：160万円以上)

所 属 別	品 名	規 格	数量	備考
手 術 室	耳鼻咽喉科用手術顕微鏡	ライカ M500-N/MS-1	1	
〃	子宮鏡セット	オリンパスヒステロスコープHYF-XP他	1 式	
〃	高周波ラジオ波メス	エルマン・ジャパン サージマックス	1	
〃	血管内超音波診断装置	ボストン・サイエンティフィック GALAXY TM2	1	
〃	結石破碎装置	コントロールユニット840-100 他	1	
〃	経皮的循環補助システム	テルモ キャピオックスEBS	1 式	
〃	経食道トランスジューサー	オムニプレーン2 21367A	1	
〃	関節鏡システム	ジンマー IM3300システム	1 式	
〃	関節鏡システム	オリンパス	1 式	
〃	患者監視装置	日本コーリン BP-508N	2	
〃	患者監視装置		1	
〃	外科用X線テレビ装置	日立メディコ Sirius Floating/C	1 式	
〃	外科用X線テレビジョン装置	OEC-9600	1	
〃	フレキシブルビデオラパロス コープセット	フジノン	1 式	
〃	マイダレックスモーターシステム	ムラナカ	1 式	
〃	マイクロ波手術器	OF 110M	1	
〃	バリーラブフォースG S Uユニット	米国バリーラブ社	1	
〃	ハーモニックスカルペル	ジョンソン&ジョンソン GEN04	1	
〃	ナビゲーターGPSシステム	タイコヘルスケア 097010 他	1 式	
〃	ナビゲーションシステム	メドトロニック TERON plusシステム	1 式	
〃	ドリルシステム	日本メドトロニック マイダスレックス・ハイスピードドリル・レジェンド・システム	1 式	
〃	鏡視下脊椎手術セット	メドトロニック ME T R x システム	1 式	
〃	イリゲーション付バイポーラセット	J & J CMC-3	1 式	
〃	C T定位脳手術装置	駒井式	1	
〃	腹腔鏡用カメラシステム	オリンパス VISERAProシステム	1	
〃	電気手術装置（4台）	バリーラブ ForceTriad	4	
〃	超音波血流計	Medi-Stim社 トランジットタイム血流計VQ4122	1	
〃	全身麻酔器（2台）	GE横河メディカルシステム エスティバ7900Pro、 気化器Sevotec7	2	
〃	耳鼻科用シェーバー/ドリルシステム	メドトロ・ソファモアダネック XFS3000	1	
〃	喉頭観察鏡システム	オリンパス PortaView-LF	1	
〃	急速輸液加温システム	スミスメディカル レベル1システム/レベル1 ホットライン	1	
〃	マイクロサージェリー手術台	瑞穂医科 最低位41 c m以下	1	

◎印は平成26年度新規購入及び買換を示す。

(取得価格：160万円以上)

所 属 別	品 名	規 格	数量	備考
手 術 室	皮膚灌流圧測定器	カネカメディックス PAD3000	1	
〃	周術期患者情報システム	オムロンコーリン	1 式	
〃	外科用手術顕微鏡システム	ライカ他M525-MS3/MKC-507	1 式	
〃	電動マイクロドリル	ストライカーコアシステム	1	
〃	気道式ドリルシステム	エースクラブ他ハイランH S コンプリート スペック他	1 式	
〃	ラジオフリークエンシーシステム	スミスアンドネフュー他ValcanEASSystem他	1 式	
〃	外科用X線TV装置	東芝メディカルシステムズ	1	
〃	生体情報モニタ	オムロンコーリンソーラー8000i	1 式	
〃	ハーモニックスカルペルII	ジョンソン・エンド・ジョンソンGEN04他	1 式	
〃	処置用ビデオスコープ	オリンパス ENF-VT2	1	
〃	腎盂/上下尿路観察鏡セット	オリンパス URF-V他	1 式	
〃	整形外科用ドリルシステム	ストライカー コードレスドライバー3	1	
〃	関節鏡カメラシステム	スミス・アンド・ネフュー 560シリーズ	1式	
〃	電気メス	東機質 ベサリウスMCM	1	
〃	電気けいれん治療器	光電メディカル サイマトロン	1	
〃	内視鏡手術カメラシステム	カールストルツ IMCE1他	1	
〃	腹腔・胸腔用TVシステム	オリンパス OIV-S7PRO	1 式	
〃	電解質TUR+内尿道切開システム	オリンパス WA22367A 他	1 式	
〃	手術顕微鏡システム	ライカ CH1	1 式	
〃	脊椎内視鏡 SPINAL ENDOSCOPES セット	カールストルツ spinal endoscopes セット	1式	
〃	腹腔鏡・胸腔鏡TVシステム	オリンパス VISERA ELITE 他	1式	
〃	超音波吸引システム	オリンパス SONOSURG-G2	1式	
〃	デュアルイメージングカラー	ライカ DIC500FL	1式	
〃	開胸器（一般）	日本ストライカー システム 7 胸骨鋸ハンドピース他	1式	
〃	眼科用冷凍手術システム	キラー・アント・ワイナー クライオマチック M4100	1式	
〃	超音波診断装置	GEヘルスケアジャパン VIVID	1	
〃	バッテリーハンドピース	日本ストライカー システム 7 シングルトリガーロータリーハ ンドピース他	1式	
〃	下肢静脈瘤レーザー治療用超 音波診断装置	GEヘルスケアジャパン LOGIQ Expert	1	
〃	内視鏡下手術用TVシステム	オリンパス VISERA ELITE OIV-S190 他	1式	
〃	眼底観察システム	カールツァイス Resight 他	1式	
〃	下肢静脈瘤レーザー治療器	インテグラル ELXeS レーザー	1	
〃	移動型外科用X線撮影装置	GEヘルスケア・ジャパン CEC9900 Elite Standard C 12Inch	1	

◎印は平成26年度新規購入及び買換を示す。

(取得価格：160万円以上)

所 属 別	品 名	規 格	数量	備考
手 術 室	◎ Force Triad	コグニティブ エネルギープラットフォーム	1	
〃	◎手術用治療機器	オリンパス Surgical Tissue Management System	1	
〃	◎白内障・硝子体手術装置 内視鏡システム	日本アルコン コンステレーションビジョンシステム LXI	1	
〃	◎内視鏡システム	日本ストライカー 内視鏡 1488 カメラシステム 他	1	
〃	◎軟性尿管ビデオスコープ	オリンパス URF-V 他	1	
〃	◎手術用无影灯 SIERIS LED2 灯式	アムコ S27-0724 他	1	
〃	◎電解質溶液下レゼクトセット	オリンパス OIV-S7ProH HD L08E D 他	1	
〃	◎手術用ナビゲーションシステム	ブレインラボ KICK ナビゲーションシステム	1	
〃	◎電動手術台	マッケジヤパン	1	
器 材 室	滅菌設備	サクラ精機	1	
〃	滅菌コンテナ		1	
〃	中央器材室セット 5	ムラナカ 113-002-03 他	1 式	
〃	高圧蒸気滅菌装置	サクラ精機 FI-370E	1	
〃	プラズマ滅菌器	ジョンソン&ジョンソン ステラッド 200	1	
〃	システム乾燥機	サクラ精機 SNK-1152E	1	
〃	インテリジェントトレイシステム	自治体病院共済会	1 式	
〃	R O 水用洗瓶洗浄装置	三菱レーヨン MRE-SSX1	1	
〃	自動滅菌システム及び自動供給制御	サクラ精機一式	1 式	
〃	スリッパ洗浄器	オカダ医材	1	
〃	酸化エチレンガス滅菌装置	サクラ精機他 SHE-G15W 型	1 式	
〃	ジェット式超音波洗浄装置	シャープ MU5100	2	
〃	ジェット式超音波洗浄装置	サクラ精機 WS-3100	1	
麻 酔 科	麻酔時患者監視装置	日本光電 BIS モニターA-2000 他	1	
〃	混合血酸素飽和度監視システム	日本光電 INVOS4000 他	1 式	
〃	動脈圧心拍出量測定装置	エドワーズライフサイエンス ビジレオモニター	1	
〃	超音波診断装置	GE 横河メディカル Vivid I	1	
〃	全身麻酔器	GE 横河メディカル エスティバ 7900	1	
〃	人工呼吸器解析装置システム	大正医科 VT-PLUS	1 式	
〃	人工呼吸器	日本光電 ザビーナ	1	
〃	血液ガス分析装置	ノバ・メディカル スタットプロファイル CCX1	1	
〃	全身麻酔器	GEヘルスケア アバンスケアステーション Pro	2	
〃	経皮的循環補助システム	テルモ キャピオックス EBS 他	1 式	

◎印は平成26年度新規購入及び買換を示す。

(取得価格：160万円以上)

所 属 別	品 名	規 格	数量	備考
麻 酔 科	全身麻酔器	GEヘルスケアジャパン アバンスケアステーションPro	2	
外来手術室	高周波ラジオ波メス	エルマン サージマックス	1	
〃	眼科用手術顕微鏡	カールツァイス OPMI Lumera T	1	
〃	移動用外科用X線装置	東洋メディック Premier	1	
〃	超音波白内障硝子体手術装置	アルコン インフィニティ・アキュラス4400	1	
〃	眼科用ヤグレーザー手術装置	エレックス ウルトラQオフサルミックヤグレーザー	1	
MEセンター	保育器（超未熟児用）	アトム V-2100HL	2	
〃	体外循環用血液パラメーター モニターシステム	テルモ CDI500	1 式	
〃	人工呼吸器	日本光電 ザビーナ	1	
〃	人工呼吸器	日本光電 Savina5380008 他	1	
〃	人工呼吸器	日本光電 EVT-4000 他	1	
〃	人工呼吸器	東機貿 ニューポート E100M	7	
〃	人工呼吸器	東機貿 E-100M	6	
〃	人工呼吸器	フジ・アールシーBiPAP Vision 他	1	
〃	人工呼吸器	ニューポートベンチレーター	2	
〃	人工呼吸器	ドレーゲルメディカル ザビーナ	2	
〃	自動赤血球沈降速度測定器	TMR-6000	1	
〃	血液成分分離装置	スペクトラVer6	1	
〃	医用テレメーター	日本光電 WEP-3214	1	
〃	医用テレメーター	日本光電 WEP-8530	2	
〃	医用テレメーター	日本光電 WEP-4202,4204,4208	1	
〃	医用テレメータ	日本光電 WEP-4204	1	
〃	医用テレメータ	日本光電 WEP-4204	1	
〃	ライフスコープ11	日本光電	1	
〃	ベッドサイドモニター	日本光電 BSM-7105,7106	7	
〃	ニューポートレスピレーター	東機貿 E-100A	2	
〃	心筋保護液供給システム	泉医科 HCP-5000	1 式	
〃	ME機器管理システム	フクダ電子 MARIS	1	
〃	医用テレメーター	日本光電 WEP-5218	2	
〃	人工呼吸器	日本光電 HAMILTON-C2	3	
〃	人工呼吸器	ドレーゲル Savina300	2	
〃	人工呼吸器	ドレーゲル Savina300	2	

◎印は平成26年度新規購入及び買換を示す。

(取得価格：160万円以上)

所 属 別	品 名	規 格	数量	備考
MEセンター	心拍出量測定装置	エドワーズ・ライフサイエンス Vigilance II	1	
〃	非侵襲的人工呼吸器	フィリップス・レスピロニクス V60	1	
〃	輸液ポンプテスター	フルーク・ハイトメディカル IDA-4Plus/4ch ,データ解析用パソコン 東芝Dynabook T453/33JW	1	
〃	血液浄化装置	旭化成メディカル ACH-Σ ,データ解析用パソコン 富士通LIFEBOOK P772/G	1	
〃	◎ヒビシランスヘモグロビンミックス	エドワーズ・ライフサイエンス MC2	2	
〃	◎人工呼吸器	ドレーゲル Savi na300	1	
〃	◎バイタルサインシミュレーター	大正医科 Prosi n8SP	1	
放 射 線 科	乳房用X線撮影装置	インストルメンタリウムイメージング社 (diamond)	1	
〃	超音波画像診断装置・腹部検査用	東芝メディカルシステムズ	1	
〃	大容量冷却遠心機		1	
〃	体外式衝撃波結石破碎装置	ドルニエメドテックシステムズ Delta II	1	
〃	パノラマ撮影X線装置	モリタ X500CP-CR	1	
〃	治療計画用CT装置	東芝メディカルシステムズ AquilionLB TSX-201A/1A 16列	1	
〃	腔内小線源治療装置	ニュークレトロン社マイクロセクロンHDR	1	
〃	救急外来用一般X線撮影装置	島津製作所 UD150B-40 他	1 式	
〃	救急室X線CT装置	東芝メディカルシステムズ Asteion	1 式	
〃	移動型X線撮影装置	日立メディコ シリウス130H P	1	
〃	移動型X線撮影装置	島津製作所 モバイルアートルミナ	1	
〃	一般X線撮影装置	東芝メディカルシステムズ KXO-80G	6	
〃	放射線治療システム	バリアン社 CLINACiX	1 式	
〃	放射線監視システム		1 式	
〃	ピクチャーテルメドリンク S	ピクチャーテル CP-1746	1	
〃	ハンドフットクロスモニター	アロカ MBR-201	1	
〃	ガンマカメラ	東芝メディカルシステムズ GCA-7200A/DI	1	
〃	定位放射線治療システム	ユーロメディテック社スカルペル	1 式	
〃	ガンマカメラ	東芝メディカルシステムズ GCA-9300A/UI型	1	
〃	遠隔式X線透視撮影装置	日立メディコ	1 式	
〃	多軌道断層撮影装置	島津製作所 HLZ-110	1	
〃	X線骨塩定量装置	QDR-4500A	1	
〃	X線CT装置	東芝メディカルシステムズ Aquilion64	1 式	
〃	R I 遮蔽用鉛貯蔵庫	TH-J1331	1	
〃	R I フード	TH-F1602	1	

◎印は平成26年度新規購入及び買換を示す。

(取得価格：160万円以上)

所 属 別	品 名	規 格	数量	備考
放 射 線 科	MR造影剤自動注入装置	根本杏林堂 ソニックショット50 他	1	
〃	超電導磁気共鳴画像診断装置	フィリップス Achiva 1.5T NovaDual	2 式	
〃	C R システム	FCR5000, FCR9501-HQ 他	1 式	
〃	C R システム	FCR5000, FCR9501-HQ 他	1 式	
〃	遠隔式X線透視撮影装置	島津製作所 Cvision Safire 17	1	
〃	X線C T装置	東芝メディカルシステムズ Aquilion64	1	
〃	ガンマカメラ	シーメンスジャパンSymbia E	1	
〃	医用画像作成装置及び外部データ取込み装置	コドニクス他 画像取込/書き込み一式	1式	
〃	アブレーションシステム	セントジュード CoolPathシステム一式	1式	
〃	心血管用アンギオ装置	フィリップス Allura Xper FD10	1	
〃	汎用アンギオ装置	フィリップス Allura Xper FD20	1	
〃	全身用X線コンピューター撮影装置	東芝メディカルシステムズ AquilionCX	1式	
〃	インバータ式回診用X線撮影装置	島津製作所 MobileArt Evolution	1	
〃	放射線読影レポート用音声入力システム	アドバンスト・メディア	1式	
〃	デジタル画像処理システム	富士フィルムメディカル CALNEO-C 他	1 式	
〃	X線骨密度測定装置	GEヘルスケア・ジャパン Prodigy Advance	1	
〃	多目的デジタルX線TVシステム	島津製作所 SONALMISION G4	1	
〃	◎X線発生装置	東芝メディカルシステムズ RADREX MRAD A80S/ 2G	4	
〃	◎X線発生装置	東芝メディカルシステムズ RADREX MRAD A80S/ BH	2	
検 査 科	誘発電位検査装置	日本光電 MEB- 5508	1	
〃	病理検査支援システム	インテック Expath II	1 式	
〃	脳波検査システム	日本光電 EEG- 1514	1 式	
〃	内視鏡画像ファイリングシステム	オリンパス光学 EVIS-NET	1 式	
〃	電子顕微鏡	日本電子 JEM- 1010	1	
〃	超音波診断装置（生理検査）	東芝メディカルシステムズ AplioXG	1	
〃	超音波診断装置（循環器）	GE横河メディカル Vivid7 Dimension 4 D	1	
〃	超音波画像診断装置	Core Vision SSA- 350A, 340A	2	
〃	超音波画像診断装置	GEヘルスケアジャパン LOGIQ7	1	
〃	心電計	日本光電 ECG- 9422 他	1	
〃	心電計	日本光電 ECG- 9372	3	
〃	実験台 4（解剖室）		1	
〃	実験台 3（標本切出室）		1	

◎印は平成26年度新規購入及び買換を示す。

（取得価格：160万円以上）

所 属 別	品 名	規 格	数量	備考
検 査 科	実験台 2 (病理検査室)		1	
"	実験台 1 (細菌検査室)		1	
"	自動封入装置	サクラ精機 SGC-400-D	1	
"	自動染色装置	サクラ精機 DRS-2000B	2	
"	嫌気性インキュベーター	ヒラサワ ANX-3 (a)	1	
"	蛍光顕微鏡	本体 ニコン E8-RFL-2 他	1	
"	解剖台	サクラ精機 KBH-LA	1	
"	運動負荷試験システム	日本光電 ECG-9522 トレッドミル	1 式	
"	密閉式自動固定包埋装置	サクラファインテックジャパン ETP-5-F	1	
"	デジタル脳波計	日本光電 EEG-7414	1	
"	ABIフォルム	日本コーリン from PWV/ABI	1	
"	超音波診断装置	G Eヘルスケア LOGIQ7	1	
"	凍結組織切片作製装置	サクラファインテック ティッシュテッククライオ	1	
"	自動採血管準備システム	テクノメディカ BC・ROBOー787	1 式	
"	血液照射装置	IBL-437C	1	
"	輸血管理システム	オーソオートビューシステム	1	
"	超音波診断装置	G Eヘルスケア LOGIQ7	1	
"	生理検査システム	日本光電 PrimeVita他	1 式	
"	呼気ガス分析装置	ミナト医科 AE-310SRC他	1 式	
"	血圧脈派検査装置	オムロン HFA-203RPEIII	1	
"	超音波診断装置 (汎用)	東芝メディカルシステムズ Aplio400	1 式	
"	全自動免疫染色装置	ライカ Bond-max	1 式	
"	超音波診断装置 (乳腺精細用)	日立アロカメディカル Preirus	1 式	
"	総合肺機能検査システム	チェスト CHESTAC-8900N	1	
"	脳波計	日本光電 EEG-1218	1	
"	血液培養装置	シスメックス・ビオメュー バクテアラート 3D 360 型	1	
"	全自動同定・感受性検査装置／ 感染制御システム	シーメンスヘルスケア マイクロスキャン WIL kAway96Plus	1	
"	脳波計	日本光電 EEG 1214	1	
"	◎筋電図・誘発電位検査装置	日本光電 MB 2312	1	
"	◎システム生物顕微鏡	オリンパス BX 53	1	
内 視 鏡 室	内視鏡画像ファイリングシステム	オリンパス光学 EMS-NET	1 式	
"	電子内視鏡システム	フジノン東芝 ES システム EL2-TF410	1 式	

◎印は平成26年度新規購入及び買換を示す。

(取得価格：160万円以上)

所 属 別	品 名	規 格	数量	備考
内 視 鏡 室	電子内視鏡システム	オリンパス EVIS ルセラ 260 システム	1 式	
"	電子内視鏡システム	オリンパス CV-260SL 他	1 式	
"	大腸ファイバースコープ	オリンパス CF200HL 他	2	
"	大腸ビデオスコープ	オリンパス EMS ILSER PCF240 i	1	
"	大腸ビデオスコープ	オリンパス PCF-Q260A	2	
"	大腸ビデオスコープ	オリンパス CF-Q240ZI	1	
"	大腸ビデオスコープ	オリンパス CF-230 i	1	
"	上部消化管用ビデオスコープ	オリンパス GIF200, GIF-XQ230	2	
"	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-Q260	2	
"	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-Q240,	3	
"	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-Q240	1	
"	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-H260Z	2	
"	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-H260	1	
"	上部消化管処置用 2 チャンネル内	オリンパス GIE-2T20	1	
"	上部消化管ビデオスコープ	オリンパス GIF-Q240	1	
"	十二指腸用電子スコープ	オリンパス JF-240	1	
"	上部消化管ビデオスコープシステム	オリンパス EMS240	1 式	
"	十二指腸ファイバースコープ	オリンパス JF1T20 OES, JF-IT30	2	
"	十二指腸ビデオスコープ	オリンパス TJF-240	1	
"	下部消化管用ビデオスコープ	オリンパス PCF-230	1	
"	下部消化管ビデオスコープ	オリンパス PCF-240L/ i	1	
"	ベットサイドモニター	日本光電 BSM-83D1	1	
"	ファイバースコープ	オリンパス BF-240	1	
"	内視鏡管理システム	オリンパス SolemioENDO	1 式	
"	高周波手術装置	エルベ VIO-300D	1	
"	気管支ビデオスコープ	オリンパス EMSLUCERA BF-6C260	1	
"	アルゴンプラズマシステム	アムコ アルゴンプラズマ APC300 他	1 式	
"	B F 用電子スコープ	オリンパス BF-240	1	
"	上部消化管汎用ビデオスコープ (2 式)	オリンパス GIF-H260	2	
"	消化器内視鏡システム (2 式)	オリンパス EVIS LUCERA SPECTRUM	2	
"	気管支超音波穿刺システム	オリンパス スコープ BF-UC260F-OL8/ 観測装置 EU C2000	1	
"	気管支ビデオスコープ	オリンパス BF-XP260F	1	

◎印は平成26年度新規購入及び買換を示す。

(取得価格：160万円以上)

所 属 別	品 名	規 格	数量	備考
内 視 鏡 室	大腸ビデオスコープ	オリンパス PCF-Q26AI	1	
〃	上部消化管ビデオスコープ	オリンパス GIF-H260	1	
〃	大腸ビデオスコープ	オリンパス PCF-Q2660AZI	1	
〃	十二指腸ビデオスコープ	オリンパス JF-260V	1	
〃	超音波内視鏡システム	オリンパス EU-ME1 他	1 式	
〃	気管支ビデオスコープ	オリンパス BF-XP260F	1	
〃	上部消化管ビデオスコープ	オリンパス GIF-XP260NS	1	
〃	気管支ビデオスコープ	オリンパス BF-260	1	
〃	十二指腸ビデオスコープ	オリンパス JF-260V	1	
内 科	携帯型超音波診断装置	ソノサイトジャパン iLook25	1	
〃	血管内超音波診断装置	テルモ TU-C200	1	
〃	超音波診断装置	GEヘルスケア LOGIQP5	1	
産 婦 人 科	超音波診断装置	持田シーメンスメディカル ソノビスタ C3000	1	
〃	超音波診断装置	東芝 SSA-340A 他	3	
〃	超音波診断装置	ソノビスター (MEU-1585)	1	
〃	婦人科内視鏡システム	オリンパス VISERA-PROCCU 他	1 式	
〃	超音波診断装置	日立アロカメディカル Prosoundα 6	1 式	
〃	◎超音波画像診断装置	GEヘルスケア・ジャパン VOLUSON P8	4	
産婦人科外来	超音波診断装置	持田シーメンス X500	1	
外 科	超音波診断装置		1	
〃	ラジオ波焼灼装置	ボストンサイエンティフィックジャパン RF3000	1	
耳鼻咽喉科	聴力検査装置	リオン AA-75	1	
〃	耳鼻科ユニット	永島医科 SNニューピアレスF (片面)	3	
〃	喉頭電子スコープセット	オリンパス ENF-V他	1 式	
〃	吸入器	永島医科 SNネブライザー装置ルミエール	1	
〃	眼振計	日本光電 MBN-1104	1	
〃	レーザー手術装置	ニーク ホルミウムヤグレーザー IH102	1	
〃	鼻咽喉内視鏡システム	オリンパス VISERA-PROCCU 他	1 式	
〃	インピーダンスオーディオメーター	リオン RS-22	1	
〃	重心動揺計	アニマ グラビコーダ GP-5000	1	
〃	眼振図解析システム	第一医科 ニスタモグラフ FNG-1004 他	1 式	
〃	神経刺激モニター	日本メドトロニック NIMレスポンス 3.0	1 式	

◎印は平成26年度新規購入及び買換を示す。

(取得価格：160万円以上)

所 属 別	品 名	規 格	数量	備考
耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉ビデオスコープ	オリンパス ENF-VQ	1 式	
〃	◎オーディオメーター	リオン AA HL	1	
泌尿器科	泌尿器用内視鏡装置	武井医科 TV-3500	1	
〃	泌尿器科用検診台	モリタ製作所 SPN-1	1	
〃	超音波画像診断装置	東芝 Nemio/ SSA- 550A	1	
〃	ウロダイナミクス検査装置	アムコ ウロラブスペクトラム	1	
〃	泌尿器内視鏡システム	オリンパス VISERAPro システム	1	
〃	超音波診断装置	東芝 NEMIO XG	1	
整形外科	埋込型シャウカステン	森山X線 ISH-02U (36 台) 他	1 式	
皮膚科	診断用顕微鏡	ニコン エクリプス 80i MTH5-31	1	
〃	近赤外線治療器	東京医研 スーパーライザー HA-2200LE-IX 2WY	1	
形成外科	QスイッチYAGレーザー	HOYA メドライト	1	
眼科	網膜電気図記録装置	トーマー PE-3000	1	
〃	非接触式角膜内皮細胞撮影装置	コーナン社 ノンコロソ	1	
〃	非接触眼圧計	キャノン ノンコンタクトトノメーターT 3	1	
〃	投影式精査型視野計	タカギセイコー プロジェク ションペリメーターMT-325UD	1	
〃	超音波画像診断装置	トーマー UD- 6000A/ B 他	1	
〃	自動視野計	カールツァイス HFAII 740	1	
〃	光干渉断層計	フーリエドメイン OCT RT Vue- 100	1	
〃	眼科手術装置	アルコン アキュラス 800CS 本体 他	1	
〃	眼科検査訓練機器	クレメントクラーク社シノプトフォア 2001 他	1	
〃	画像ファイリング機能付スリットラン	カールツァイス SL130	1	
〃	角膜形状測定装置	トーマー TNS-4	1	
〃	オートレフケラトメーター	キャノン RK-5	1	
〃	オートレフ・ケラトメーター	キャノン RK-F1	1	
〃	眼底カメラ	コーワ VX-10 i	1	
〃	マルチカラーレーザー光凝固装置	ツァイス	1	
〃	ピズラスPDTシステム	スリットランプ SL130 付システム 690 S	1	
〃	眼科診療支援システム	ニデック NAVIS-HP 他	1	
〃	細隙灯顕微鏡	ハーグストレート 900BQ LED	1	
〃	細隙灯顕微鏡	カールツァイス	1	
〃	オートレフケラトトノメーター	キャノン TX-20P 他	1	

◎印は平成26年度新規購入及び買換を示す。

(取得価格：160万円以上)

所 属 別	品 名	規 格	数量	備考
眼 科	◎眼圧・角膜厚測定装置	キヤノンライフケアソリューションズ [®] TX-20P	1	
腎センター	透析用監視装置	日機装 DCS-73	1	
〃	多人数用透析液供給装置	日機装 DAB-10E	1	
〃	多人数透析液供給装置	日機装 DAB-05B	1	
〃	個人用HDF装置	日機装 DBG-02, NRX-20PS 付	1	
〃	逆浸透性精製水製造装置	東レ・メディカル TW-300HI	1	
救 急 室	便尿器消毒機	ゲッチング S406 他	1	
〃	搬送用人工呼吸器	ドレーゲルメディカル オキシログ 3000	1	
〃	◎経皮の心肺補助装置	テルモ キャピオックス EBS 他	1 式	
救 命 救 急 セ ン タ ー	高機能患者シミュレータ	METI (アイエムアイ) ECS 成人モデル	1	
〃	高機能 ICU ベッド	ヒルロム トータルスポーツケア	1	
〃	救急用ストレッチャー	日本ストライカー SM204	1	
〃	ポータブル超音波診断装置	ソノサイトジャパン マイクロマックス	1	
〃	ヘモダイナミックモニター	エドワーワーズライフサイエンス MC2	1	
〃	ベッドサイドモニター	日本光電 BSM-2301	1 式	
〃	ベッドサイドモニター	日本光電 BSM-2301	1 式	
〃	ベッドサイドモニター	日本光電 BSM-2301	1 式	
〃	病棟モニタリングシステム	日本光電 CNS-9701	1 式	
〃	全自動血液ガス分析装置	バイエルメディカル ラピッドポイント 405	1 式	
〃	心電図受信装置	日本光電 CNS-9701	1 式	
〃	人工呼吸器	日本光電 EVT-400	2	
〃	血液透析濾過装置	旭化成メディカル Plasauto i Q21	1	
〃	救急用受信システム	日本光電 WEC-4100	1 式	
〃	陽・陰圧体外式人工呼吸器	メディベント社 RTX	1	
〃	超音波診断装置	ソノサイト L04326 他	1 式	
〃	救急・搬送用人工呼吸器	ドレーゲル	1	
〃	超音波診断装置（救急用）	富士フイルムメディカル FAZONE M	1	
歯 科 口 腔 外 科	歯科用ユニット	FGMD2-163L	2	
〃	歯科用キャビネット	ウエダ キャビネットABC他	1	
〃	歯科用インスツルメント	長田電気	1	
〃	感染対策歯科セット	OFJ-MZLタービンセット 他	1 式	
〃	デンタルユニット	GM/ML-223LL	1	

◎印は平成26年度新規購入及び買換を示す。

(取得価格：160万円以上)

所 属 別	品 名	規 格	数量	備考
歯科口腔 外科 臓血管科 心臓血管科	セントラルシステム	フレクシークリーンエアバキューム 他	1 式	
	遠心ポンプ	テルモ サーンズセントリ フェーガルシステム	1 式	
	大動脈内バルーンポンプ	ゼメックス I A B P	1	
	大動脈内バルーンポンプ	エドワーズライフサイエンス CS-100	1	
	人工心肺装置	スタックカート スタックカート S 5	1	
リハビリ	耳鼻咽喉ファイバースコープ	町田製作所 FLT-SIII 他	1	
	磁気刺激装置	ミュキ技研 マグスティムラピッドシステム	1 式	
	筋力評価訓練装置	酒井医療 BDX-3 他	1	
	起立訓練ベッド	酒井医療 SPR-8000	1	
	バランス・計測訓練機器	アニマ キネトグラビコーダ G-7100 他	1	
	トレッドミル		1	
	耳鼻咽喉ビデオスコープ	オリンパス OTV-S190 他	1	
透 析 室	透析用監視装置	日機装 DCS-73	1	
	HDF 監視装置	日機装 DCG-03	1	
	多用途透析監視装置	日機装 DCG-03	1	
	個人用透析装置	日機装 DBB-27	1	
8 階北病棟	便尿器消毒機	ゲッチング S 406 他	1 式	
	分娩監視システム	アトムメディカル AFD-32 他 一式	1 式	
	体外受精用無菌培養システム	日本医科器械 HIS-M-1600CIS	1 式	
	新生児連れ去り防止システム	マトリックス IC タグセキュリティーシステム	1 式	
	産科病棟セキュリティーシステム	シスメックス C-CV20-2 他	1 式	
	顕微受精システム	オリンパス ON2-ICSI- II	1 式	
	分娩台	アトム LDR-7000	1	
	分娩監視装置・単胎用	アトムメディカル FM-20A/E-20 他	1 式	
	分娩監視装置・双胎用	アトムメディカル FM-20B/E-20 他	1 式	
	体外受精用培養器	クックメディカル ミニキューバー KMC 1000	1	
	◎超音波画像診断装置	シーメンス SONOMSTA EX premium edition	1	
9 階南病棟	肺理学療法システム (6 台)	ヒルロム (パラマウント) トータルケアスポーツ	6	
	超音波画像診断装置		1	
	人工呼吸器	ドレーゲル Savi na	1	
	アーケティックサン	アイエムアイ モデル 2000 VER 4	1	
	◎フラッシュャーディスインフェクター	ゲティンゲ GEIINGE607	1	

◎印は平成26年度新規購入及び買換を示す。

(取得価格：160万円以上)

所 属 別	品 名	規 格	数量	備考
10 階南病棟	超音波診断装置	フィリップスメディカルシステムズ iE33	1 式	
11 階北病棟	超音波画像診断装置	腹部検査用	2	
〃	新生児用人工呼吸器	東機貿 SLE2000	1	
11 階南病棟	血管アクセス用超音波診断装置	メディコン サテライト 5	1	
12 階北病棟	膀胱鏡検診台		1	
〃	耳鼻科ユニット	永島医科 S I V ニューピアレス	1	
〃	細隙灯顕微鏡	ハーグストレイト 900BQV 他	2	
〃	ネブライザーユニット	永島医科 SN-P 型 3 人用	1	
12 階南病棟	8 人用医用テレメーター	日本光電 WEP-5218	1 式	
13 階北病棟	セントラルモニター	オムロンコーリン HXC-1190 他	1 式	
〃	◎フラッシュャーディスインフェクター	ゲティンゲ GEIINGER607	1	
13 階南病棟	◎フラッシュャーディスインフェクター	ゲティンゲ GEIINGER607	1	
14 階北病棟	介護浴槽	酒井医療 LUP-930G/P	1	
14 階南病棟	医用テレメーター	オムロンコーリン HXC-1100 他	1 式	
8 階西病棟	人工呼吸器（ベンチレーター）	東機貿 SLE2000 他	1	
〃	新生児用人工呼吸器	東機貿 SLE2000HFO	1	
〃	インファントウォーマー	アトム V-505HL	1	
N I C U	鼻腔式持続陽圧呼吸補助装置	エアウォーター インファントフローサイパップ	2	
〃	超音波診断装置	東芝 Xario	1	
〃	新生児用聴覚検査装置	日本光電 MAAS	1	
〃	新生児用人工呼吸器	ドレーゲル Babylog 8000plus	4	
〃	新生児用人工呼吸器	イワキ カリオペα	2	
〃	光凝固装置	エレックス ソリティア	1	
〃	血液ガス分析装置	ラジオメーター ABL835FLEX	1	
〃	C R システム	コダック CR ELITE-19	1	
〃	ポータブル X 線撮影装置	シーメンス MOBILETT XP	1	
〃	カウンターユニット・シーリング	セントラルユニ カウンターユニット+シーリングモジュール	1	
〃	C R P 測定器	日水製薬 エバネット E V 20	1	
〃	脳機能モニタ	アイエムアイ 16ch 124 01 20	1	
〃	呼吸機能測定装置	アイビジョンアーフェルⅢ	1	
〃	閉鎖式保育器	アトムメディカル	10	
〃	生体情報モニター	フィリップス MP50	5	

◎印は平成26年度新規購入及び買換を示す。

（取得価格：160万円以上）

所 属 別	品 名	規 格	数 量	備考
N I C U	体温管理システム	アイ・エム・アイ アークティックサン	1	
"	搬送用保育器	アトムメディカル V 808 SpO2	1	
"	開放型保育器	アトムメディカル インファウォーマー I	1	
"	閉鎖循環式保育器	アトムメディカル インキュ I	1	
ICU/CCU	便尿器消毒機	ゲッチング S 406 他	1	
"	超音波診断装置	SONOS-5500	1	
"	人工呼吸器	ドレーグルメディカル エビタ 4	1	
"	人工呼吸器	ドレーグル エビタ X L	1	
"	人工呼吸器	ドレーグル EVT4000	3	
"	除細動器	日本光電 TEC-7531	1	
"	持続緩徐式血液濾過装置	旭メディカル Plasauto iQ	1	
"	持続緩徐式血液浄化装置	旭メディカル ACH-10	1	
"	在室患者監視システム	オムロンコーリン ベッドサイドモニタ Solar8000i	1	
"	I C U天井懸垂システム	インケアポート MODEL-277	1	
"	血液浄化システム	旭化成クラレ プラソート I Q21	1	
"	高機能 ICU ベッド	パラマウントベッド KH-151	1	
感 染 対 策 管 理 室	採痰ブース	日本医科器械製作所 VCM-1500N2	1	
薬 剤	輸液自動倉庫	VC-3-3400	1	
"	薬剤保管用縦型回転柵	クラヤ薬品 92C3-315-42	1	
"	薬剤管理業務支援システム	ユヤマ クスリ箱エース 21 他	1	
"	薬剤トレイ回収システム	セントラルユニ	1	
"	電動式移動棚	クラヤ薬品 RAM-5240 K-TE 他	1	
"	注射薬自動払出システム	セントラルユニ	1	
"	蒸留水製造装置	清水理化学機器 TKS-30	1	
"	プレハブ低温室		1	
"	I V H機器システム	日科ミクロン	1	
"	調剤支援システム	ユヤマ一式	1	
"	全自動散薬分包機	ユヤマ YS-TWIN-R93 III	2	
"	全自動錠剤分包機	ユヤマ YS-TR 330FD2	1	
"	薬液・薬ビン用蒸気滅菌器	サクラ精機 Σ III YR-B09SLPC	1	
"	◎注射薬自動払出システム	トーション UNPUL 4000-V4	1	
食 養	保温保冷配膳車	松下電工 CD1354P	3	

◎印は平成26年度新規購入及び買換を示す。

(取得価格：160万円以上)

所 属 別	品 名	規 格	数量	備考
食 養	プレハブ冷凍庫	日本調理機 HCA22A	1	
〃	食器洗浄機	日本調理機 DWF2-6RPE-01	1	
〃	哺乳瓶用乾熱滅菌装置	三田理化工業 MB-20E	1	
〃	スチームコンベクションオープン	ニチワ SCOS-2020RH-L 他	1 式	
〃	◎温冷配膳車	ERECTA MC48RER SY	2	
医 事	総合医療情報システム	富士通	1 式	
〃	ムーブラック	イトーキ	1	
〃	レセプトチェックシステム	エーアイエスマイティチェッカー	1	
〃	◎収納 POSレジシステム	富士通	6	
教育指導部	救命処置トレーニングシステム	レイダル社ハートシステムACLSトレーニング	1 式	
〃	救命処置トレーニングシステム	レイダル社ハートシステムACLSトレーニング	1 式	
〃	システムオートラック	マルタン	1	
庶務・管理	物品器材管理システム	セントラルユニ	1 式	
〃	物品管理システム	セントラルユニ	1 式	
〃	ベッド洗浄機	DWA-2300	1	
〃	プラスチック破砕器	EC-15-30-B	1	
〃	ピアノセット	ヤマハ C3L	1 式	
〃	ベッド洗浄機	DWA-2300	1	
〃	プラスチック破砕器	EC-15-30-B	1	
〃	ピアノセット	ヤマハ C3L	1 式	
〃	防災対策用カメラシステム	ヤマハ C3LTOA C-CV160S-3 他	1 式	
川崎病院	急性期患者情報システム	オムロンコーリン ICUシステム・ERシステム・ORシステム	1 式	

◎印は平成26年度新規購入及び買換を示す。

(取得価格：160万円以上)

6 主 な 委 託 業 務

病院業務の効率的な運営を期して、業務の一部を次のとおり委託しています。

平成10年度から委託業務の一部を整理統合しました。

委 託 業 務 名	委 託 内 容	開始年度
清 掃	院内（病棟区域・外来区域）、構内清掃	S 32
リネンセンター 運営管理業務	診療衣・看護衣・診察用布等の洗濯、折りたたみ 新生児・乳幼児用肌着等の提供と洗濯 入院患者寝具・洗濯・病棟配布 宿直職員及び夜勤看護師用寝具の提供と補修・洗濯 患者病衣の提供 ベッドセンター運営管理・補修室縫製等	S 35 S 41 S 41 S 48 H 6 H 10
施 設 管 理 業 務	空調機・自家発電機・医療ガス設備・昇降機点検 機械設備管理・運転監視・空調設備保守等	S 45 H 10
消 防 設 備 関 係	外観・機能点検 1 回、総合点検 1 回	S 45
検 査 業 務	一般・血液・生化学・血清・細菌検査	S 45
医 事 業 務	診察データの入力・診療報酬請求書・行為別集計等の作成 臨床クラーク（病棟及び外来の医療業務上の事務補助） 初診受付・再診受付・外来会計受付・電算入力 事務当直業務（時間外患者受付） 医事業務（全面委託）	S 52 H 元 H 元 H 2 H 5
給 食 業 務	調理・盛り付け・配膳・下膳・食器洗浄等	H 7
情報システム運用業務	総合医療情報システム管理運用業務	H 10
物 流 管 理 業 務	S P D（物流管理）・滅菌業務	H 10
院 内 保 安 警 備	院内の保安警備、駐車場管理業務 防災センター監視業務ほか	S 43 H 10
放射性物質濃度法定測定	作業環境法に基づく測定業務	H 元
電 話 交 換 業 務	電話交換・院内放送業務	H 10
感染性産業廃棄物処理	廃棄物処理法による感染性産業廃棄物の処理	H 4
医事データ遠隔地保管	医事データのバックアップを外部で保管	H 13
そ の 他	歯科技工、害虫駆除、植木剪定、解剖臓器処理、カーテン賃貸借、院内保育室調理業務等、夜間保育（H25）	

7 図 書 室

平成 26 年度は、前年度に引き続き、研修医向けの図書室資料の充実を図りました。

インターネット用パソコン 2 台、プリンター 1 台が増設されプロジェクターが 1 台増えました。

全てのパソコンがプリンターと繋がり、モノクロ印刷が可能となりました。

医中誌が IP アドレス認証になり、図書室内全てのインターネット用パソコンから検索が可能になりました。

国立国会図書館へ登録利用者制度の申請をし、遠隔複写サービスが利用できるようになりました。

「つつじ文庫」は多くの患者の皆様的好评を得ています。

蔵書は市民・職員の皆様の温かいご支援のもと、多くの図書が寄贈されています。

平成 26 年度末現在約 41,000 冊の蔵書数となっています。

平成26年度図書室資料受入状況

区 分	購 入	寄 贈	計
単行書（和）	539	43	582
単行書（洋）	16	13	29
雑誌（和）	107	71	178
雑誌（洋）	62	5	67
視聴覚資料	33	0	33
年報・報告書	0	175	175
雑誌所蔵目録	1	2	3
検索用データベース	4	0	3
医中誌Web			
JLDean3			
メディカルオンライン			
最新看護索引web			
臨床支援ツール	2	0	2
Up To Date			
今日の診療			

平成26年度和雑誌購読（107誌）

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------|
| 1 あたらしい眼科 | 39 看護 |
| 2 ブレインナーシング | 40 看護技術 |
| 3 病院 | 41 看護実践の科学 |
| 4 病院安全教育 | 42 看護管理 |
| 5 クリニカルエンジニアリング | 43 看護研究 |
| 6 地域連携入退院支援 | 44 看護教育 |
| 7 中毒研究 | 45 看護展望 |
| 8 電気と工事 | 46 肝・胆・膵 |
| 9 栄養と料理 | 47 緩和ケア |
| 10 エキスパートナース | 48 形成外科 |
| 11 エマージェンシーケア | 49 呼吸と循環 |
| 12 がん看護 | 50 呼吸器ケア |
| 13 癌と化学療法 | 51 コミュニティケア |
| 14 画像診断 | 52 厚生指標 |
| 15 外科 | 53 胸部外科 |
| 16 月刊 保険診療 | 54 救急医学 |
| 17 月刊 ナーシング | 55 救急・集中治療 |
| 18 月刊 ナースマネジャー | 56 麻酔 |
| 19 月刊 新医療 | 57 Medical Practice |
| 20 月刊 薬事 | 58 Medical Technology |
| 21 ハートナーシング | 59 Medicina |
| 22 皮膚病診療 | 60 内科 |
| 23 ホルモンと臨床 | 61 日本病院会雑誌 |
| 24 ICUとCCU | 62 日本医事新報 |
| 25 医学のあゆみ | 63 日本臨床 |
| 26 医学のあゆみ 別冊 | 64 脳神経外科 |
| 27 医学教育 | 65 脳神経外科速報 |
| 28 医学図書館 | 66 ナーシングビジネス |
| 29 Infection Control | 67 ナーシングトゥデイ |
| 30 インターナショナル・ナーシングレビュー | 68 Nutrition Care |
| 31 胃と腸 | 69 オペナーシング |
| 32 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 | 70 Phase3 最新医療系 |
| 33 腎と透析 | 71 ペリネイタルケア |
| 34 JINスペシャル | 72 プロフェッショナルがんナーシング |
| 35 JCHS | 73 クイntenッセンス・デンタル・インプラント |
| 36 助産雑誌 | ロジャー |
| 37 Journal of Clinical Rehabilitation | 74 レジデント |
| 38 重症集中ケア | 75 レジデントノート |

- 76 理学療法ジャーナル
- 77 臨床栄養
- 78 臨床婦人科産科
- 79 臨床外科
- 80 臨床泌尿器科
- 81 臨床放射線
- 82 臨床整形外科
- 83 臨床精神医学
- 84 臨床透析
- 85 老年精神医学雑誌
- 86 作業療法ジャーナル
- 87 産科と婦人科
- 88 整形外科
- 89 整形外科 別冊
- 90 整形・災害外科
- 91 精神科治療学
- 92 精神科看護
- 93 設備と管理
- 94 歯界展望
- 95 神経内科
- 96 総合リハビリテーション
- 97 消化器外科ナーシング
- 98 小児科
- 99 小児看護
- 100 小児科診療
- 101 小児内科
- 102 手術
- 103 周産期医学
- 104 糖尿病ケア
- 105 ヴィジュアル・ダーマトロジー
- 106 薬局
- 107 全国自治体病院協議会雑誌

平成26年度購読洋雑誌（62誌）

- 1 American Heart Journal
- 2 American Journal of Medicine
- 3 American Journal of Obstetrics & Gynecology
- 4 American Journal of Ophthalmology
- 5 American Journal of Psychiatry
- 6 American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine
- 7 American Journal of Sports Medicine
- 8 American Journal of Surgery
- 9 American Journal of Surgical Pathology (Fixed10)
- 10 Anesthesia & Analgesia
- 11 Anesthesiology (Fixed10)
- 12 Annals of Emergency Medicine
- 13 Annals of Internal Medicine
- 14 Annals of Surgery (Fixed10)
- 15 Annals of Thoracic Surgery
- 16 Arthritis & Rheumatism (inc. Arthritis Care & Research)
- 17 Auris Nasus Larynx
- 18 Blood
- 19 BMJ: British Medical Journal (international)
- 20 Bone & Joint Journal (前誌: Journal of Bone & Joint Surgery(Br))
- 21 Cancer (inc. Cancer cytopathology)
- 22 Chest
- 23 Circulation (Fixed10)
- 24 Clinical Infectious Diseases
- 25 Critical Care Medicine (Fixed10)
- 26 Diabetes Care
- 27 Gastroenterology
- 28 Hepatology (Liver Transplantation)
- 29 JAMA Dermatology (前誌: Archives of Dermatology)
- 30 JAMA Ophthalmology (前誌: Archives of Ophthalmology)
- 31 JAMA Otolaryngology-Head & Neck Surgery
(前誌: Archives of Otolaryngology-Head & Neck Surgery)
- 32 JAMA Surgery (前誌: Archives of Surgery)
- 33 Journal of Allergy & Clinical Immunology
- 34 Journal of American Academy of Dermatology
- 35 Journal of American College of Cardiology
- 36 Journal of American Medical Association
- 37 Journal of Bone & Joint Surgery (Am)

- 38 Journal of Clinical Oncology
- 39 Journal of Computer Assisted Tomography (Fixed10)
- 40 Journal of Hand Surgery (Am)
- 41 Journal of Hand Surgery (Eur)
- 42 Journal of Neurosurgery
- 43 Journal of Orthopaedic Science
- 44 Journal of Pediatrics
- 45 Journal of Shoulder and Elbow Surgery
- 46 Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery
- 47 Journal of Trauma and Acute Care Surgery
- 48 Journal of Urology
- 49 Journal of Vascular & Interventional Radiology
- 50 Journal of Vascular Surgery
- 51 Lancet
- 52 Laryngoscope
- 53 Neurology
- 54 Neurosurgery (Fixed10)
- 55 New England Journal of Medicine
- 56 Obstetrics & Gynecology (Fixed10)
- 57 Oral Surgery, Oral Medicine, Oral Pathology, Oral Radiology
- 58 Pediatrics
- 59 Plastic and Reconstructive Surgery (Fixed10)
- 60 Radiology
- 61 Stroke (Fixed10)
- 62 Surgery

平成26年度寄贈和雑誌（71誌）

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1 Circulation Journal | 36 日本産科婦人科学会 関東連合地方部会誌 |
| 2 Clinical Pediatric Endocrinology | 37 日本産科婦人科学会 神奈川地方部会誌 |
| 3 Gastroenterological Endoscopy | 38 日本産科婦人科学会 東京地方部会誌 |
| 4 General Thoracic and Cardiovascular Surgery | 39 日本産科婦人科内視鏡学会雑誌 |
| 5 北海道農村医学会雑誌 | 40 日本性感染症学会誌 |
| 6 International Journal of Hematology | 41 日本歯科医学会誌 |
| 7 神奈川医学会雑誌 | 42 日本歯科医師会雑誌 |
| 8 患者安全推進ジャーナル | 43 日本心臓病学会誌 |
| 9 環境感染 | 44 日本心臓血管外科学会雑誌 |
| 10 感染症 | 45 日本消化器病学会雑誌 |
| 11 感染症学雑誌 | 46 日本小児科学会雑誌 |
| 12 川崎市医師会医学会誌 | 47 日本小児腎臓病学会雑誌 |
| 13 こども医療センター医学誌 | 48 日本小児救急医学会雑誌 |
| 14 共済医報 | 49 日本集団災害医学会誌 |
| 15 Lisa | 50 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌 |
| 16 メディカル朝日 | 51 日本透析医学会雑誌 |
| 17 Nagoya Medical Journal | 52 日赤医学 |
| 18 日本エイズ学会誌 | 53 西日本皮膚科 |
| 19 日本癌治療学会雑誌 | 54 Osteoporosis Japan(日本骨粗鬆症学会) |
| 20 日本外科学会雑誌 | 55 Pediatrics International |
| 21 日本医師会雑誌 | 56 Reproductive Medicine and Biology |
| 22 日本受精着床学会雑誌 | 57 臨床評価 |
| 23 日本化学療法学会雑誌 | 58 臨床医薬 |
| 24 日本形成外科学会誌 | 59 臨床核医学 |
| 25 日本血管外科学会雑誌 | 60 臨床血液 |
| 26 日本口腔外科学会雑誌 | 61 臨床薬理の進歩 |
| 27 日本口腔科学会雑誌 | 62 聖マリアンナ医科大学雑誌 |
| 28 日本救急医学会雑誌 | 63 歯科薬物療法 |
| 29 日本内分泌学会雑誌 | 64 島津評論 |
| 30 日本内科学会雑誌 | 65 小児保健研究 |
| 31 日本内視鏡外科学会雑誌 | 66 帝京医学雑誌 |
| 32 日本農村医学会雑誌 | 67 Therapeutic Apheresis and Dialysis |
| 33 日本臨床外科医学会雑誌 | 68 頭頸部癌 |
| 34 日本臨床免疫学会誌 | 69 東京都医師会雑誌 |
| 35 日本産科婦人科学会雑誌 | 70 予防医学 |
| | 71 横浜医学 |

平成26年度寄贈洋雑誌（5誌）

- 1 Gynecology and Minimally Invasive Therapy
- 2 International Journal of Oral and Maxillofacial Surgery
- 3 The Journal of Clinical Endocrinology & Metabolism
- 4 Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences
- 5 Oral Science International

平成26年度神奈川県・川崎市年報、報告書（21誌）

- 1 神奈川県悪性新生物登録事業年報
- 2 神奈川県立病院年報
- 3 神奈川県予防医学協会事業年報
- 4 神奈川県立がんセンター年報
- 5 神奈川県七沢リハビリテーション病院脳血管センター年報
- 6 神奈川県立精神医療センター業務年報
- 7 神奈川県リハビリテーション病院年報
- 8 川崎市衛生研究所年報
- 9 川崎市健康福祉研究発表集録
- 10 川崎市健康福祉研究年報
- 11 川崎市立看護短期大学年報
- 12 川崎市立看護短期大学紀要
- 13 川崎市立井田病院年報
- 14 川崎市立川崎病院年報
- 15 川崎市立多摩病院年報
- 16 川崎市立川崎病院看護部看護研究集録
- 17 川崎市立川崎病院看護部事例研究集録
- 18 川崎市立川崎病院看護部概要
- 19 川崎市立川崎病院看護部活動実績
- 20 川崎市再生フロンティア
- 21 川崎市民オンブズマン年次報告

8 看護部の概況

平成 27 年 3 月

平成 26 年度は、新規採用者 71 名と井田病院からの異動者 6 名の看護師を迎え入れ看護職員（臨時職員を含む）680 名でスタートしました。人材育成とチーム医療の推進について主な取り組みを延べます。

川崎市立病院「人材育成計画」に則り、局研修、それをフォローする院内研修・川崎病院独自の院内研修・院内留学そして OJT など、さまざまな看護実践能力向上のための研修・研究を実施しています。局研修には述べ 1,336 名が参加し、事例研究 43 演題・看護研究 14 演題の発表があり、自己の振り返りや看護の探求に努めました。全国自治体病院学会をはじめとして全国の学会で 8 演題を発表しました。また今年初めての企画で院外留学（訪問看護ステーション見学実習）をスタートさせ、患者・家族が安心して在宅ケアに移行できる支援・指導を実践している訪問看護師の活動を学びました。研修参加者は、退院後の生活と指導の結びつきの実際を知り、退院支援の強化につなげています。

認定看護師会研修は、新人のみならず最新の知見を学ぼうと多くの職員が参加し、日々の看護に役立てました。述べ参加者 1,473 名は、会が始まって以来最高の参加者数でした。地域の施設からの参加も嬉しいニュースです。次年度は医療施設への出前講座を計画しています。今後も看護職員が病院を飛び出し活躍することを応援します。

看護師長のマネジメント評価表の運用を開始し、各看護単位の課題を明確にし、副部長の指導を受けながら解決への取り組みを進めました。3 月に師長全員が、マネジメントプロセスの発表を行い、お互いの課題や解決手法、スタッフとの課題の共有、その効果などをディスカッションすることで看護管理への理解を深めました。

2025 年問題を控えて高度急性期病院である当院も病院完結型の医療ではなく、地域全体の医療サービスを見据えながら近隣の病院や診療所と当院のそれぞれの特徴を生かした機能分担と連携を進めています。三次救急入院患者が増加する中、在院日数を短くしながら、安心して、自宅やリハビリ施設に移行できるよう必要なときに集中的に高度医療を提供するために、看護職はチーム医療のキーパーソンとして活躍してまいります。

今後も高度急性期病院の強みを活かして、多くの患者さんに質の高いチーム医療が提供できるようリーダーシップを発揮していきたいと思いをします。

(1) 看護職員配置数

(平成 27 年 4 月 1 日現在)

項目 看護単位		許可 病床数	稼動 病床数	助産師 看護師	臨時 職員	夜勤人員		看護 助手	クランク (委託)
						準夜	深夜		
		713	647						
看護部配置数				592					
看護部 4 月現在現在数									
14 階北病棟(内科・透析室)		52	42	32	1	4	4	3	1
14 階南病棟(内科)		51	46	30	2	4	4	3	1
13 階北病棟(心外・循環器内科)		51	46	32	2	4	4	4	1
13 階南病棟(内科)		53	48	31	1	4	4	3	1
12 階北病棟(泌・耳・眼・口腔)		51	46	28		3	3	3	1
12 階南病棟(脳・皮・放・リハ)		53	48	31	1	4	4	4	1
11階北病棟(外科)		53	48	30	2	4	4	2	1
11階南病棟(外科・肺外科)		53	48	30	2	4	4	4	1
10 階北病棟(整形外科・形成外科)		53	48	27	1	3	3	3	1
10 階南病棟(婦人科・整形外科)		52	47	29	0	3	3	3	1
9階北病棟 (精神科)		38	33	16	4	3	2	1	1
9階南病棟 (EICU・救命救急病棟・小児急病センタ ー)		20	20	55	0	10	9	0	1
9 階西病棟 (感染症・ER)		12	12	10	5	2	2	2	1
8 階北病棟 (産科・新生児)		44	42	29	5	4	4	2	1
8 階南病棟・小児科外来		41	41	28	1	3	3	1	1
NICU		6	6	15		2	2	1	1
GCU		18	18	13	3	2	2	0	
5 階 ICU・CCU		12	8	31	1	4	4	1	1
5 階 手術室				35	2	2	2		1
外 来	Aブロック			26	29			5	31
	Bブロック								
	Cブロック								
副院長(看護部長)室				1					
看護部管理室				3					
担当課長・看護師長				1(再掲)					
看護師長				18(再掲)					
地域連携室兼務看護師長				2					
医療安全管理室兼務担当係長				1					
産休・育休・病休・休職・派遣研修				44					

(2) 職員の出身校別内訳・年齢分布・平均年齢

ア 出身校別内訳

(平成27年3月31日現在)

種別	学校 人数	看護大学	助産師校	看護短期 大学	看護専門 学校	准看学校
総 数	582人	57人	19人	150人	352人	4人
構成比(%)	100%	10%	3%	26%	60%	1%
助 産 師	23人	4人	19人	0人	0人	0人
構成比(%)	4%	17%	83%	0%	0%	0%
看 護 師	555人	53人	0人	150人	352人	0人
構成比(%)	95%	10%	0%	27%	63%	0%
准看護師	4人	0人	0人	0人	0人	4人
構成比(%)	1%	0%	0%	0%	0%	100%

イ 年齢分布

年齢	助産師	看護師(准看護師含む)	計
21	0	0	0
22	0	19	19
23	1	30	31
24	0	42	42
25	1	34	35
26	1	23	24
27	0	12	12
28	1	11	12
29	2	18	20
30～34	3	88	91
35～39	2	74	76
40～44	4	98	102
45～49	6	44	50
50～54	1	41	42
55～59	0	24	24
60～	1	1	2
合計	23	559	582

ウ 平均年齢

(平成27年3月31日現在)

助産師	看護師(准看護師含む)	総平均
37.8	36.1	36.2

(3) 勤続年数

【 助産師 : 12.1年 / 看護師(准看護師含む) : 9.4年 / 総平均 :
(平成27年3月31日現在)

年数	助産師	看護師 (准看護師含む)	年数	助産師	看護師 (准看護師含む)
	23人	559人			
0	4人	63人	20	1人	7人
1	0人	39人	21	0人	15人
2	3人	73人	22	1人	8人
3	1人	39人	23	0人	8人
4	3人	27人	24	0人	3人
5	1人	24人	25	0人	2人
6	1人	24人	26	0人	6人
7	0人	27人	27	0人	8人
8	1人	25人	28	0人	3人
9	0人	15人	29	0人	6人
10	1人	12人	30	0人	6人
11	0人	11人	31	1人	5人
12	1人	12人	32	0人	1人
13	1人	9人	33	0人	4人
14	1人	14人	34	0人	6人
15	1人	7人	35	0人	1人
16	1人	14人	36	0人	2人
17	0人	8人	37	0人	2人
18	0人	8人	38	0人	0人
19	0人	13人	39～	0人	2人

4 平成26年度看護職員採用・退職状況

採用者数	71名	助産師3名 看護師68名
退職者数	59名	助産師3名 看護師56名

5 通勤及び入寮状況

(平成27年3月31日現在)

通 勤	525名	90.2%	助産師22名・看護師499名・准看護師4名
入 寮	57名	9.8%	助産師1名・看護師56名

9 地域医療連携室

地域医療連携室では急性期の治療を終えた患者さんが、地域の医療機関などで継続的な医療の提供を受けられるように、院内外と連携を強化しながら退院支援に努めています。また、地域医療支援病院の認定を目指し、紹介率・逆紹介率の向上のために地域の医療機関への広報をはじめ医療機器共同利用の推進や専門内科紹介受診の予約などについても積極的に取り組んでいます。

(1) 紹介率・逆紹介率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
紹介率	51.93	51.18	50.26	48.66	47.29	52.57	55.82	57.29	55.29	57.8	58.07	61.49
逆紹介率	65.22	64.41	72.32	66.53	68.72	67.19	78.71	80.68	75.82	74.54	76.93	80.35

(2) 地域医療連携業務

内容	受診依頼	入院依頼	医療機器協同利用							かかりつけ 医紹介	診療情報 提供・依頼	転院・転出
			CT	MRI	腹部エコー	心エコー	骨シンチ	上部内視鏡	X-P			
件数	114	486	115	31	36	0	24	85	1	711	891	244

(3) 退院支援業務

内容	退院調整会議	社会資源活用	訪問看護	訪問診療	HOT導入	医療機器導入・相談	書類関連
件数	152	244	127	96	80	40	267

(4) 地域広報業務

- ア 地域医療連携便り発行 VOL 8 7月発行
- イ 外来診療担当表 川崎区・幸区内の診療所と病院に毎月発送
- ウ 診療所・病院訪問 診療所 5施設 病院 3施設
- エ 地域連携勉強会

	月	主催科	名称	内容	対象
1	4月	泌尿器科	泌尿器科病診連携会	疾患についての講義・質疑応答	医師
2	6月	小児科	小児病診連携の会	治療等に関する講演と質疑応答	医師
3	7月	感染対策室/医療安全管理室	院内講演会	患者の安全に関する講演	多職種
4	11月	内科・整形	第19回川崎リウマチ・膠原病懇話会	症例検討	医師
5	11月	川崎病院	第5回神奈川県単位型緩和ケア研修会	緩和ケアに関する講義・ロールプレイ	医師・薬剤師・看護師
6	11月	外科	第7回川崎外科病診連携会	症例検討	医師
7	1月	口腔外科	口腔外科病診連携セミナー	症例検討	医師・歯科衛生士他
8	2月	外科内科呼吸器外科	幸ネット	症例検討	医師
9	2月	泌尿器科	第3回川崎泌尿器科病診連携会	疾患についての講義・質疑応答	医師
10	2月	小児科	小児連携の会	治療等に関する講演と質疑応答	医師
11	3月	外科	川崎・幸 病診ネット	治療等に関する講演と質疑応答	医師
12	3月	泌尿器科	前立腺フォーラム	治療等に関する講演と質疑応答	医師

オ 地域連携の会参加

	開催日	名称	主催	開催場所
1	4月1日	第6回川崎外科病診連携会	川崎外科病診連携会	川崎病院 4階 カンファレンスルーム
2	5月12日	地域包括ケアシステム・に向けて	川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室	川崎商工会議所
3	6月6日	第18回川崎リウマチ膠原病診療懇話会	川崎リウマチ膠原病診療懇話会	川崎病院 4階 カンファレンスルーム
4	6月27日	地域包括ケアシステムを考える勉強会		川崎病院 4階 第2会議室
5	7月5日	2025年問題を見据えて	川崎南部摂食嚥下・栄養研究会	川崎市産業振興会館大ホール
6	8月7日	第1回神奈川東部脳卒中連携の会	神奈川東部FNTF連携の会	済生会横浜市東部病院
7	8月26日	川崎市循環器・消化器合同講演会	医師会・川崎内科外科医会	川崎日航ホテル
8	8月29日	第1回神奈川東部FNTF連携の会	神奈川東部FNTF連携の会	済生会横浜市東部病院
9	9月10日	川崎南部緩和ケアフォーラム	川崎南部摂食嚥下・栄養研究会呼吸器ケア研究会	川崎日航ホテル
10	10月3日	川崎区在宅療養推進協議会	川崎市・川崎区医師会	川崎市川崎休日診療所
11	10月27日	地域医療に関する研究会	川崎市医師会・川崎市病院協会	中原区役所会議室
12	10月29日	第6回虎ノ門病院分院医療連携懇話会	虎ノ門病院分院	Hotel KSP
13	10月30日	川崎「医療・介護公開セミナー」	川崎区在宅推進協議会	ライフコミュニケーション川崎
14	11月11日	第2回神奈川東部FNTFの会	神奈川東部FNTF連携の会	関東労災病院
15	11月16日	自分で決める人生の終末	川崎市看護協会	川崎市福祉総合センター
16	11月17日	第7回川崎外科病診連携会	川崎外科病診連携会	川崎病院 4階 カンファレンスルーム
17	11月21日	第19回川崎リウマチ膠原病懇話会	川崎リウマチ膠原病診療懇話会	川崎病院 4階 カンファレンスルーム
18	11月21日	川崎南部認知症を考える世話人会	医師会・川崎介護支援専門員連絡会	川崎市川崎休日診療所
19	12月5日	川崎地域ケア連絡会議	川崎区役所高齢・障害課	東海道かわさき宿交流館
20	12月9日	病院と地域の看護職の連携研修会	川崎市ナースセンター看護連携推進委員会	川崎市ナースセンター
21	1月22日	川崎市内病院医療相談室・連携相談員との意見交換会	川崎区役所高齢・障害課	川崎区役所
22	2月3日	在宅医療の可能性について	川崎市立川崎病院リウマチ科	川崎病院 4階 カンファレンスルーム
23	2月4日	認知症対応力向上研修	川崎市病院協会・看護協会	川崎市ナースセンター
24	2月11日	川崎市在宅医療市民シンポジウム	川崎区在宅推進協議会	川崎市産業振興会館大ホール
25	2月23日	川崎区在宅療養推進協議会	川崎市・川崎区医師会	川崎市川崎休日診療所
26	2月24日	川崎泌尿器科病診連携会	キッセイ薬品	川崎病院講堂
27	3月23日	第3回神奈川東部FNTFの会	神奈川東部FNTF連携の会	川崎病院講堂
28	3月23日	第5回幸・川崎NET	アステラス製薬株式会社	川崎病院会議室
29	3月24日	泌尿器科前立腺癌医療連携会	川崎病院泌尿器科	川崎商工会議所
30	3月26日	川崎「医療・介護公開セミナー」	川崎区在宅推進協議会	ライフコミュニケーション川崎

(5) 在宅支援業務

内容	ショートステイ			あんしん見守り		
件数	小児	6名	延べ 19回			
	成人	3名	延べ 3回	成人	1名	

10 医療相談室の概況

平成 26 年度に取り扱った援助内容は、退院援助に関する相談が全体に占める割合の 73.6% にまで達しています。(表①②参照) その内容は在宅復帰に向けての福祉サービスについての相談や転院・他施設紹介という情報提供に関係機関の調整にとどまらず、患者の抱える家族問題や経済的問題の整理と解決への支援がかなりの比重を占めています。

年間の相談件数は、相談延件数で表しており、平成 22 年度 29,673 件に対して平成 26 年度は 41,624 件と増加傾向にあります。(表③)

また、その他の業務の取扱い件数については、生活保護入院時申請援助が 22 年度以前は 100 件を超えていましたが、23 年度以降は 100 件未満となり減少しています。

医療通訳派遣システム事業調整は、年々増加傾向にあり、22 年度から 26 年度の 5 年間で約 2 倍弱と増加しています。派遣言語は英語が 247 件と一番多く、次いでスペイン語 124 件、中国語 80 件となっています。昨年に比べて、英語はやや減少傾向にあるものの、スペイン語と中国語が各 40 件ほどの増加です。

重症心身障害児者短期入所について、今年度の利用件数は 24 名であり、利用実人数は 9 名です。26 年度新規利用者はいませんでした。ほとんどの利用者が年度内に複数回の利用をしており、在宅生活を送るにあたり、貴重な社会資源の役割を担っています。なお、受け入れ病棟については院内関係部署との話し合いにより、26 年度より 15 歳以下を小児科病棟、16 歳以上をその他の病棟とすることを決定しました。

① 26 年度援助内容別集計

(単位：件)

月 別 区 分		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
援 助 内 容	受診・受療援助	95	103	118	87	74	85	68	65	74	42	79	51	941
	医療費等経済的問	171	125	95	142	75	111	144	94	104	130	129	73	1,393
	在宅退院援助	240	245	236	212	202	175	310	228	239	174	177	127	2,565
	転院・他施設入所援助	2,857	2,550	2,522	2,861	2,441	2,269	2,860	2,471	2,395	2,393	2,288	2,084	29,991
	生活保護等連絡調整	266	262	203	298	237	235	238	189	164	160	193	67	2,512
	精神科関連	13	0	1	2	0	2	0	19	0	15	22	25	99
	自立支援法短期入所	17	25	4	9	9	34	19	9	15	16	13	36	206
	医療通訳派遣調整	132	126	134	156	120	227	216	107	174	171	103	99	1,765
	児童虐待・DV等援助	2	3	14	11	39	3	12	7	33	7	51	17	199
	福祉的サービス活用	172	266	230	294	222	259	304	302	313	264	290	264	3,180
	会議等連絡調整	169	128	110	100	114	132	198	159	145	5	3	10	1,273
	そ の 他	7	20	5	12	12	7	13	17	1	0	10	5	109
合 計		4,141	3,853	3,672	4,184	3,545	3,539	4,382	3,667	3,657	3,377	3,358	2,858	44,233

② 〈退院支援処理状況の推移〉

(単位：件)

年 度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
在 宅 退 院 援 助	1, 733	2, 489	2, 639	3, 626	2, 565
転院・他施設入所等援助	22, 337	23, 532	26, 991	24, 884	29, 991
退 院 援 助 (計)	24, 070	26, 021	29, 630	28, 510	32, 556
全 相 談 処 理 件 数	33, 358	35, 602	40, 968	41, 247	44, 233
相 談 処 理 全 体 に 退院援助が占める割合	72. 1%	73. 0%	72. 3%	69. 1%	73. 6%

③ 相談方法別の相談延件数

(単位：件)

年 度		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
相 談 方 法	面 接	7, 230	7, 680	9, 584	10, 518	10, 685
	電 話 ・ 文 書 等	22, 417	26, 113	29, 465	29, 476	30, 731
	訪 問 ・ そ の 他	26	56	90	97	208
相 談 延 件 数		29, 673	33, 849	39, 139	40, 091	41, 624

④ その他主な業務の取扱い件数の推移

(単位：件)

年 度		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
生活保護入院時申請援助	住 所 不 定	47	39	42	34	31
	生 活 困 窮	55	45	47	29	34
生 活 保 護 日 用 品 費		121	93	67	54	41
重症心身障害児者短期入所		21	26	42	44	23
医療通訳派遣システム事業調整		302	236	366	479	560
児 童 虐 待 連 絡 検 討 会		2	12	2	3	5
計		548	451	566	643	694

11 医療安全管理室

医療安全管理室は安全な医療の提供と医療の質の向上を目的に、医療安全管理体制の確立および医療事故の予防ならびにインシデントの再発防止対策を推進しています。

平成 26 年度は、院内で使用している全ての輸液ポンプの設定方法を容積制御に変更しました。従来の滴下による設定方法より薬剤の投与が適正で、製剤の濃度に関わらず確実に投与されるメリットが確認できたからです。医療機器の安全使用については毎年、機器別に勉強会を企画して医療機器の設定や管理について知識・技術の向上を目指しています。

各部署から報告されるインシデントレポート件数は年間 3,000 件以上になりますが、報告されたレポートを集計・分析し医療安全関連の委員会で検討しています。さらに警鐘事例や共有事例については再発防止策を立案し周知する必要があります。薬剤部や検査科・ME センター等、他部門・他職種と連携しながら改善策を示しております。院内のシステム改善としては、注射オーダーの入力画面や注射箋の表示等を改善することにより事例の再発防止に努めました。昨今、社会的な問題である院内暴力・暴言対策としましては、院内にポスターを掲示して組織的な抑止を図るとともに、職員の安全性を確保するため 24 時間体制で警察 O B を配置する等、体制が整備されています。また現場で暴力やハラスメントを受けた職員からの報告を奨励し、現状を加味した活用できる暴力暴言対応マニュアルとして改訂しております。

医療行為を実施するにあたっては、患者・家族の意思を尊重し納得の得られる説明と同意が不可欠です。医療者と患者・家族間では当然情報量に大差があり、医療者には理解しやすい表現で丁寧に説明する義務があります。平成 26 年度は当院における説明と同意に関する指針を検討し改定致しました。

医療安全を推進するためには他職種が連携し、専門性を発揮しながらチーム医療として力を高める必要があります。平成 25 年度から全職種を参加対象としてチームステップス研修（初級編）を導入し、コミュニケーションやリーダーシップの重要性が体感できたと、多くの職員から高い評価を得ています。また、各種医療チームによる組織横断的な院内ラウンドの実施、事例検討会や合同カンファレンスの開催等、全職員が医療安全と医療の質向上に努めております。

《1》平成 26 年度 インシデントレポート件数

	25 年度	26 年度	増減	26 年度 構成比
合計	3, 267	3, 309	42	100.0%
薬剤	1, 197	1, 278	81	38.6%
輸血	15	22	7	0.7%
治療・処置	298	268	▲30	8.1%
医療機器等の使用・管理	76	106	30	3.2%
ドレーン・チューブ類等の使用・管理	550	521	▲29	15.7%
検査	217	226	9	6.8%
療養上の場面	629	581	▲48	17.6%
その他	285	307	22	9.3%

*複数の職員からレポートの提出があった場合は、1件として集計している。

(2) 主な改善項目

	項目	目的 改善内容
治療・処置	注射	● 抗生剤の投与方法の入力間違いを防ぐためシステム変更 ⇒IV選択を無くした ● 注射箋への患者間違い防止⇒注意喚起文書の入力
	医療機器の使用・管理	● 無駄鳴りアラームへの対応 心電図モニター装着の目安を作成 ● 輸液ポンプの設定を容積制御へ変更 ● 輸液ポンプの不具合に対する院内調査
	電子カルテ	● 暴言・暴力・迷惑行為患者の情報共有方法 ● ERのCT撮影⇒患者バーコード認証を導入
療養生活	暴言暴力への対応	● 暴力暴言対策としてポスターを院内に掲示 ● 暴力暴言マニュアルの改訂
	安全への取り組み	● 医療事故情報第三者機関への報告について 外来掲示板と入院案内へ掲示、ホームページへ掲載 ● 医療安全研修への2回/年 参加が義務として承認された ● 職員対象のメンタルヘルス対策を検討 ● 臨床倫理に関する検討会を実施 ● 川崎病院のホームページへ医療安全管理室を掲載 ● 抗がん剤ミキシング時の曝露対策 安全キャビネット
	改訂及び新規作成	● 身体抑制に関する同意書の修正 ● 説明と同意に関する指針の改定 ● 福祉用具の保守点検を実施
マニュアル		● NCU「栄養チューブ再挿入時のX P撮影について」 現場運用マニュアルの変更

12 定例院内会議

- (1) 三役会議【病院長、事務局長、担当理事①、副院長④、担当部長、庶務課長、医事課長】週1回
 (2) 運営会議【病院長、事務局長、担当理事②、副院長④、各科部・課(科)長、担当部・課(科)長】月2回
 (3) 各種委員会 (平成26年6月1日現在)

番号	委員会名 活動内容	委員長名	役職名	統括 開催予定
1	倫理委員会 (脳死判定委員会) *医療行為に関し、倫理的・社会的観点から審査等を行う。	成松 芳明 (竹中 信夫)	副院長 (副院長)	成松副院長 (竹中副院長)
2	職員服務委員会 *職員の服務の確立と不祥事故防止の徹底を図る。	増田 純一	病院長	病院長 必要に応じて開催
3	病院(経営)改善委員会 (DPCコーディング部会) *経営改善及び調査等を行い検討する。	増田 純一 (野崎 博之)	病院長 (内科部長)	病院長 (病院長)
4	防火防災管理委員会 *消防法に基づき、院内の防災対策を検証及び推進する。	増田 純一	病院長	病院長 必要に応じて開催
5	医療安全管理委員会 (医療安全管理部会) *医療事故を防止し、安全かつ適切な医療体制を確立する。	成松 芳明 (岩田 壮吉)	副院長 (産科・婦人科部長)	成松副院長 (成松副院長)
6	職員衛生委員会 *職員の労働衛生に関する事項を調査審議し、衛生管理の推進を図る。	岡野 裕	リウマチ膠原病・痛風センター所長	成松副院長 月1回
7	感染対策委員会 (感染対策チーム) *院内感染の防止のため、諸問題を調査及び審議する。	坂本 光男 (坂本 光男)	感染症内科部長 (感染症内科部長)	番場副院長 (番場副院長)
8	医療ガス安全管理委員会 *高圧ガス保守法に基づき、院内医療ガスの安全を検証及び推進する。	佐山 宏一	呼吸器内科部長	病院長 年2回
9	放射線安全委員会 *放射線障害の防止について、必要事項を調査及び審議する。	増田 純一	病院長	病院長 年1回
10	個人情報管理委員会 (診療録等開示検討部会) *診療記録及び診療報酬明細書の開示を行うために、必要な事項を検討する。	大曾根 康夫 (今西 智之)	リウマチ膠原病・痛風センター担当部長 (脳神経外科部長)	成松副院長 (竹中副院長)
11	診療録管理委員会 *診療録の管理と診療情報の提供を行うために、必要事項を検討する。	安 藏 慎	小児科部長	竹中副院長 月1回
12	給食委員会 *栄養業務及び給食業務の管理運営について検討する。	有馬 功一郎	血液透析室長	竹中副院長 月1回
13	治験審査委員会 *治験を行うことの適否、その他治験に関する調査及び審議する。	小柳 貴裕	整形外科部長	番場副院長 月1回
14	輸血療法委員会 *輸血関連業務等の必要事項を検討する。	市東 昌也	消化器外科部長	竹中副院長 隔月
15	臨床検査業務検討委員会 *臨床検査の精度管理を行う。	杉浦 仁	検査科部長	成松副院長 必要に応じて開催
16	業務改善委員会 *職場環境を整え、患者サービスの充実と医療の向上を図るために、必要事項を検討する。	宮川 俊一	皮膚科部長	病院長 月1回
17	機種選定委員会 *購入する医療用器機の仕様の決定又は機種の選定を行う。	成松 芳明	副院長	成松副院長 必要に応じて開催
18	クリニカルパス検討委員会 *チーム医療の機能と効率性を高めるために、必要事項を検討する。	野崎 博之	内科部長	成松副院長 隔月
19	廃棄物管理委員会 *院内の環境保全を図るとともに、感染性廃棄物による感染事故防止を目的とする。	高木 英恵	肝臓内科部長	番場副院長 必要に応じて開催
20	薬事委員会 *薬事全般に関する事項について審議する。	飯島 尚志	薬剤部長	番場副院長 月1回
21	保険委員会 *診療報酬の請求に対する査定等について検討し、経営効率の向上に努める。	増田 純一	病院長	病院長 月1回
22	情報システム管理委員会 (システム運用検討部会) *医療情報システムの管理及び運用について検討する。	野崎 博之 (檜林 敦)	内科部長 (小児科医長)	成松副院長 (成松副院長)
23	手術部委員会 (外来手術室部会) *手術部門の安全かつ円滑な運営をするために、必要事項の検討、調査審議及び提言を行う。	竹中 信夫 (掛札 敏裕)	副院長 (外科部長)	竹中副院長 (竹中副院長)
24	ICU・CCU運営委員会 *ICU・CCUの安全管理と集中治療室としての機能を発揮できる運営を推進する。	森田 慶久	麻酔科部長	病院長 隔月
25	医療材料等委員会 *医療材料等の採用・死蔵化の防止、使用の効率化及び試用に関する事項を検討する。	末吉 浩一郎	循環器内科部長	成松副院長 月1回

26	地域医療支援病院検討委員会	中 道 憲 明	リハビリテーション科部長	竹中副院長
	(退院調整部会)	(片谷 寿恵)	地域医療部担当課長	竹中副院長
	*病院と地域の連携を図り、情報の共有化及びネットワーク作りを検討及び推進する。			月 1 回
27	褥瘡対策委員会	宮 川 俊 一	皮膚科部長	竹中副院長
	*褥瘡対策を討議し、その効率的な推進を図る。			月 1 回
28	救急医療運営委員会	田 熊 清 継	救急科部長	竹中副院長
	(災害時医療等専門部会)	(大城 健一)	(救命救急センター副医長)	(竹中副院長)
	(DMAT作業部会)	(大城 健一)	(救命救急センター副医長)	(竹中副院長)
	(院内救急対策部会)	(伊藤 壮一)	(救命救急センター医長)	(竹中副院長)
	(当直業務検討部会)	(掛札 敏裕)	(外科部長)	(竹中副院長)
	(冠疾患緊急患者受入体制検討部会)	(末吉 浩一郎)	(循環器内科部長)	(竹中副院長)
29	化学療法委員会	澤 藤 誠	呼吸器外科部長	竹中副院長
	*外来治療センターの運営に関する必要事項を検討する。			月 1 回
30	MEセンター委員会	森 田 慶 久	MEセンター所長	病 院 長
	*MEセンター及びその管理機器に関する事項を検討する。			隔月
31	物流運営委員会	相 馬 啓 子	耳鼻咽喉科部長	病 院 長
	*院内の輸送設備を効率よく運用することを検討する。			必要に応じて開催
32	保育室運営委員会	柄 崎 智	事務局長	事務局長
	*保育室の運営に関する事項を検討する。			必要に応じて開催
33	広報委員会	番 場 正 博	副 院 長	病 院 長
	*広報雑誌とホームページの作成を中心に、病院の広報活動の推進を図る。			年 1 回
34	接遇教育委員会	綱 嶋 たかえ	副院長・看護部長	綱嶋副院長
	*職員の接遇教育の充実を図り、患者サービスの充実と医療の質向上を図る。			月 1 回
35	ボランティア推進委員会	綱 嶋 たかえ	副院長・看護部長	綱嶋副院長
	*ボランティア活動を円滑化して、患者サービスの充実及び向上を図る。			月 1 回
36	精神科救急医療検討委員会	齋 藤 寿 昭	精神科部長	番場副院長
	*精神科救急医療を円滑に実施するために、必要事項を検討する。			必要に応じて開催
37	病院機能評価検討委員会	竹 中 信 夫	副 院 長	竹中副院長
	*病院機能評価の受審等に関する事項について検討する。			必要に応じて開催
38	医療機器安全管理委員会	森 田 慶 久	麻酔科部長	成松副院長
	*医療機器の安全使用のための情報収集、医療機器の安全使用のための研修の策定及び実施、医療機器の保守点検の計画の策定。			必要に応じて開催
39	糖尿病診療連携委員会	津 村 和 大	内科医長	成松副院長
	*糖尿病の診療連携について検討する。			月 1 回
40	チーム医療推進委員会	竹 中 信 夫	副 院 長	竹中副院長
	(S C U部会)	(竹中 信夫)	(副院長)	(竹中副院長)
	(栄養サポートチーム(NST))	(伊藤 真梨)	(リハビリテーション科副医長)	(竹中副院長)
	(呼吸器ケア部会)	(森田 慶久)	(麻酔科部長)	病 院 長
	(緩和ケア部会)	(齋藤 寿昭)	(精神科部長)	病 院 長
	(緩和ケアチーム)	(夏 錦言)	(外科担当部長)	病 院 長
41	外来診療委員会	宮 川 俊 一	皮膚科部長	竹中副院長
	*外来診療について検討する。			月 1 回
42	虐待対策委員会	安 藏 慎	小児科部長	番場副院長
	*児童虐待に関する諸問題を調査及び審議する。			必要に応じて開催
43	行動制限最小化委員会	齋 藤 寿 昭	精神科部長	番場副院長
	*精神科入院患者の隔離・拘束・通信制限などにつきその妥当性を検討する。			月 1 回
44	内視鏡室委員会	相 浦 浩 一	内視鏡室長	番場副院長
45	教育研究委員会	番 場 正 博	副 院 長	病 院 長
	(研修管理委員会)	(小宮 浩一郎)	整形外科担当部長	病 院 長
	(教育部会)	(原 智)	泌尿器科部長	病 院 長
	(研究部会)	(津村 和夫)	内科医長	病 院 長
	(図書部会)	(玉井 博修)	消化器内科部長	病 院 長
	(年報編集部会)	(柄崎 智)	事務局長	病 院 長
46	精神科身体合併症管理委員会	齋 藤 寿 昭	精神科部長	
	*精神科身体合併症患者の診察・治療において院内連携を円滑にするための調整を行う。			